

蓮光寺本堂屋根改修工事

図面リスト			
番号	図面名称	番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-13	本堂瓦工事標準図 (2)
A-01	本堂屋根改修工事特記仕様書	A-14	本堂樋位置図
A-02	本堂1階平面図	A-15	本堂妻部分補修図
A-03	本堂屋根伏図-1	A-16	仮設工事詳細図 (1)
A-04	本堂屋根伏図-2	A-17	仮設工事詳細図 (2)
A-05	本堂立面図-1	A-18	仮設工事詳細図 (3)
A-06	本堂立面図-2	A-19	仮設工事詳細図 (4)
A-07	本堂立面図-3	A-20	仮設工事詳細図 (5)
A-08	本堂立面図-4	A-21	仮設工事詳細図 (6)
A-09	本堂断面図-1	A-22	本堂小屋裏補強
A-10	本堂断面図-2	A-23	本堂桔木補強
A-11	本堂屋根工事詳細図	A-24	本堂向拝軒先詳細図
A-12	本堂瓦工事標準図 (1)	A-25	本堂避雷針設備 (1)
		A-26	本堂避雷針設備 (2)

平成28年06月
(株)KR建築研究所

		株式会社 KR建築研究所 横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271		蓮光寺本堂屋根改修工事		A-00 No.
		一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部 範二		図面年月日 2016.06	表紙・図面リスト	



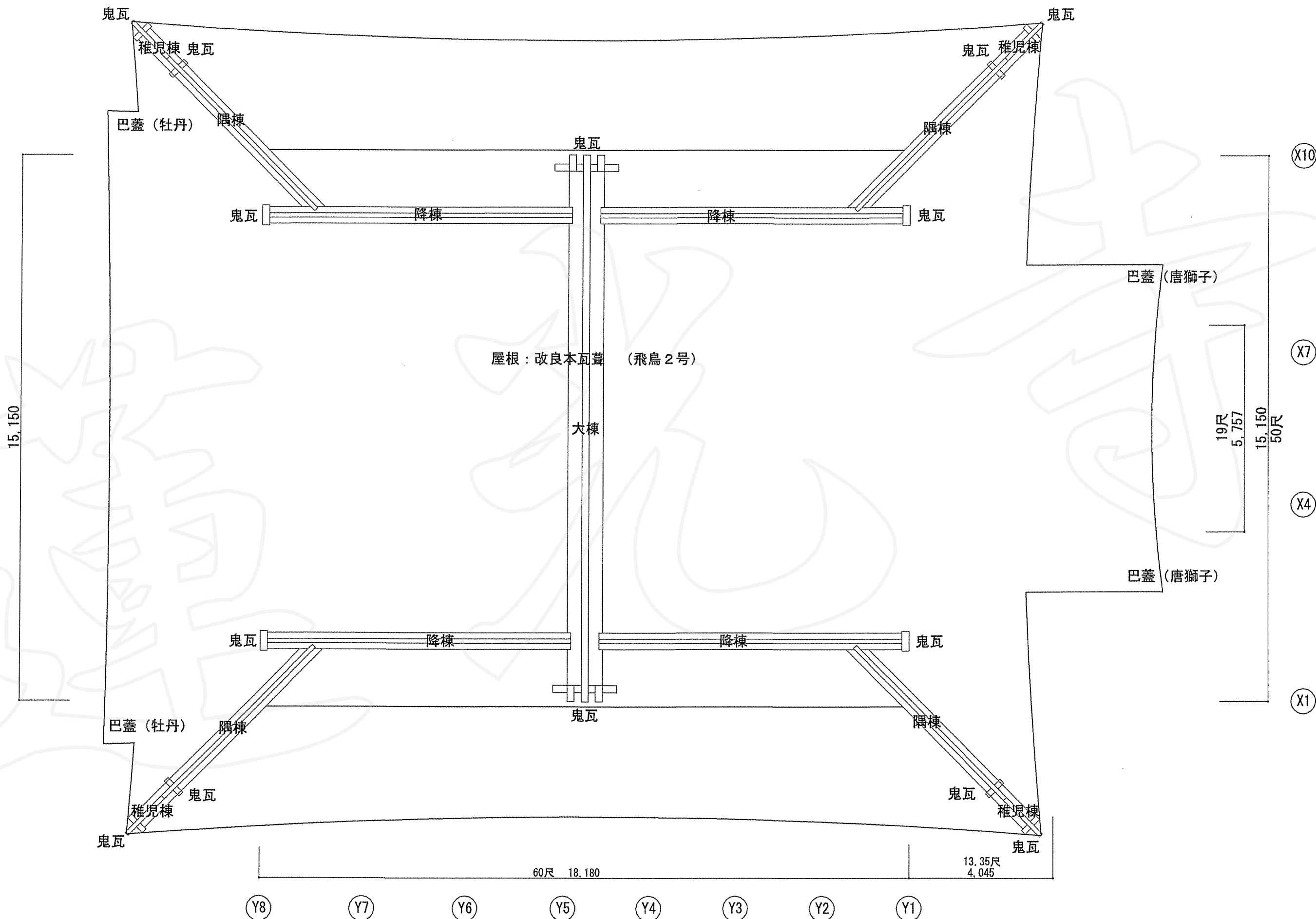
屋根改修工事特記仕様書

屋根改修工事内容	仮設工事
現況の本堂屋根瓦（本瓦葺き）及び葺土と土居葺材及び野地木舞材を撤去処分する。	足場工事；桝組足場、くさび型足場を適宜使用する。 仮設詳細図参照。
新規野地板を張り、その上からアスファルトルーフィングを2重貼する。	特に背面とその周辺の墓石にかかる部分は、くさび型足場にて墓石を避けて組み上げる。
空葺き木製下地を新設して、改良本瓦葺き（空葺き工法）屋根とする。	墓石上部を作業スペースとするため、墓石の養生を充分に行う。
工事範囲	素屋根工事；コンビネーションビームシステムによる素屋根を設置する。（日建リース工業株式会社） 仮設詳細図参照。
本堂大屋根及び左右の脇廊下屋根とする。渡り廊下及び附属室屋根は含まない。	屋根材はポリエチレン製の屋根シート（半透光）：ムテキシートB.L.を使用する。
木工事	施行手順の概要
新規野地板は、杉一等材料；長さ3,650、幅180、厚18を乱張り釘打ちとする。	桝組足場上部に大引（H-150×150@1,500）、基礎（H-200×200×8×12）を取付ける。
既存木造部材を点検し、状態によっては部分補修を行う。（野垂木、母屋、裏甲、茅負、木負、軒天、棟、箕甲、前包、破風など）	
	コンビネーションビーム（1200型）を組み立てる。
防水工事	1. 屋根フレームを地組し、数フレームを連結して1ユニットとする。
一層目は、アスファルトルーフィング：カラールーフィング940（田島ルーフィング）	2. 屋根フレームに基礎固定部コンビネーションを連結する。
二層目は、改質アスファルトルーフィング：ライナールーフィング（田島ルーフィング）	3. 屋根フレームに屋根シートを張る。
	4. 屋根フレーム1ユニットをクレーンにて吊り上げ、足場上部の基礎上に固定する。
瓦工事	5. 各ユニットを連結し、連結部分に屋根シートを張る。
瓦は改良本瓦（飛鳥瓦2号：ロック式工法対応）とし、既存瓦と同じ尺判とする。奈良県瓦センター(株)製品または同等品。	6. 妻面足場建枠にシートガイドを取付け、シートを張る。
焼成温度 1050度以上・吸水率12%以上の瓦とする。 施主及び工事監理者による製品検査を行なう。	
鬼瓦、巴蓋は既存のものを再使用するが、状況の悪いものについては新規作製とする。	
空葺き木製下地は、引掛け棧工法とする。棧木は、杉赤身勝（防腐加工）水抜棧木（7×36）、横棧木（24×30）、縦棧木（12×27）。	
大屋根概要	
改良本瓦葺き；740㎡、大棟経ノ巻鬼瓦；2個 同足元4個、降棟経ノ巻鬼瓦；4個、稚児経ノ巻鬼瓦；4個	
隅棟経ノ巻鬼瓦；4個、巴蓋（唐獅子）；2個、巴蓋（牡丹）；2個	
北側脇廊下屋根概要	
改良本瓦葺き；83㎡、鬼瓦；1個、巴蓋（牡丹）；3個	
南側脇廊下屋根概要	
改良本瓦葺き；85㎡、鬼瓦；2個、巴蓋（牡丹）；1個	
樋工事	
既設軒樋・堅樋は一時撤去をし保管、補修の上再使用する。	
既設軒樋・堅樋の種類と設置位置は、A-14図による。	

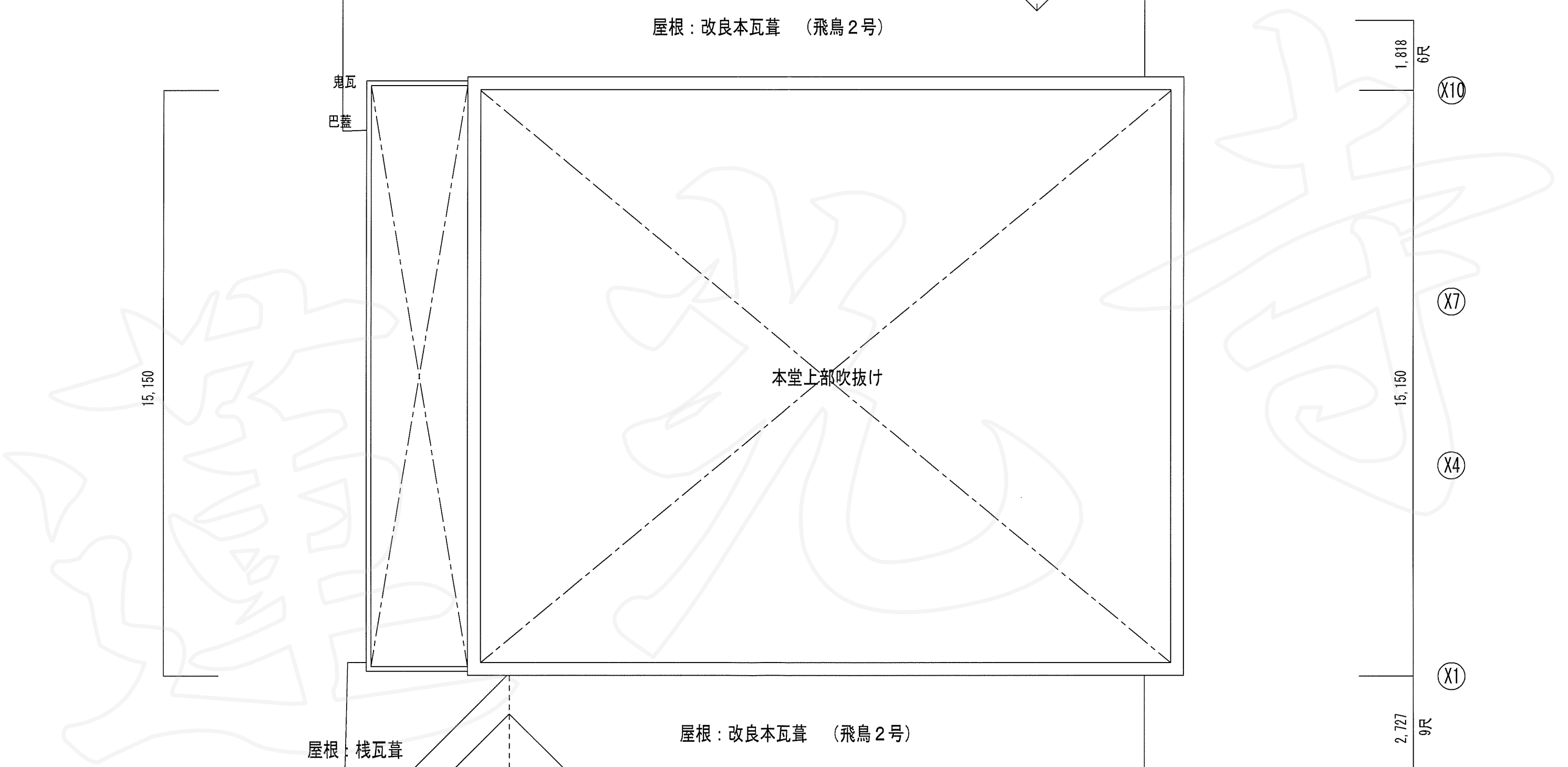


真宗大谷派 大田山 蓮光寺

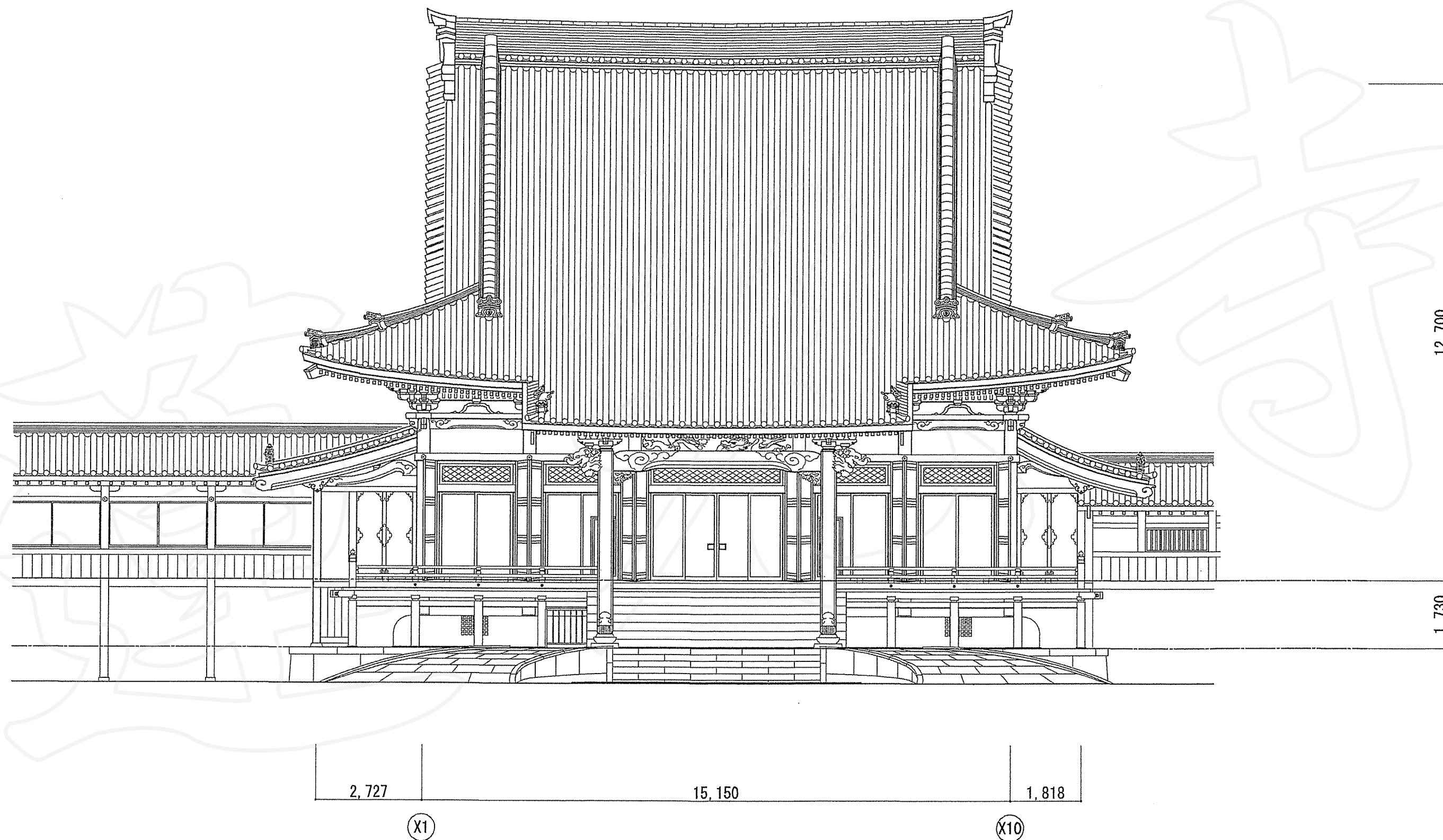
KR



				株式会社 K R 建築研究所 一級建築士事務所 第7363号 (神奈川県) 一級建築士 第37707号 股部範二	横浜市中区東川崎三ツ沢上町 2-18 Tel 045(412)4001 Fax 045(311)9271	蓮光寺本堂屋根改修工事 本堂屋根伏図-1	A-3 No.
--	--	--	--	---	---	---	--

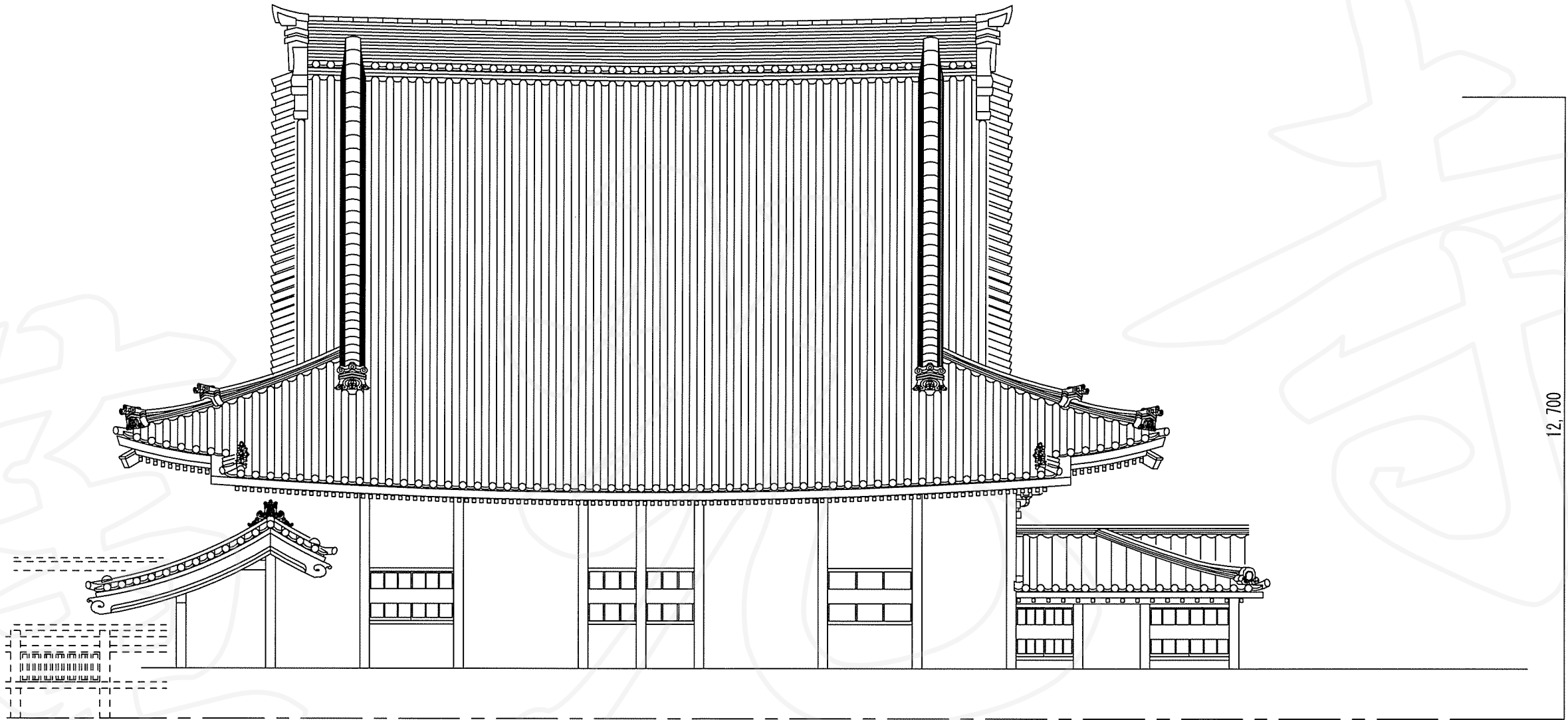


株式会社 **K R 建築研究所** 横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16
Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271
一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部範二



蓮光寺 本堂正面図 1:100

	株式会社 K R 建築研究所 一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 飯部 龍二	横浜市中区三ツ沢上町 2-18 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)0271	設計年月日 2014.11.	蓮光寺本堂屋根改修工事 本堂立面図-1 縮尺 1/100 (A3版)	A-5 No.



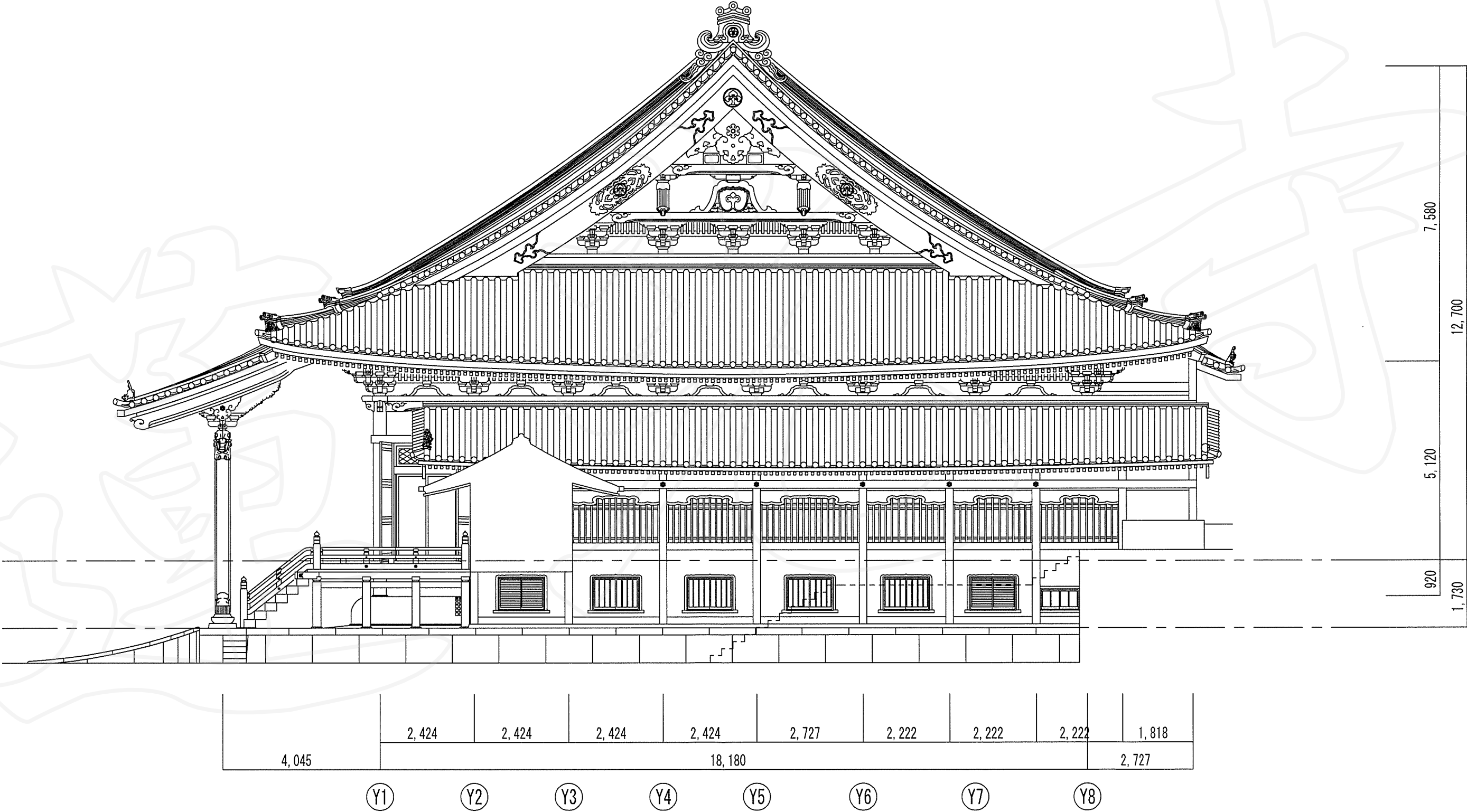
1,818	1,924	1,924	2,545	2,364	2,545	1,924	1,924	1,364	1,363	1,818
15,150									2,727	

(X1)

(X10)

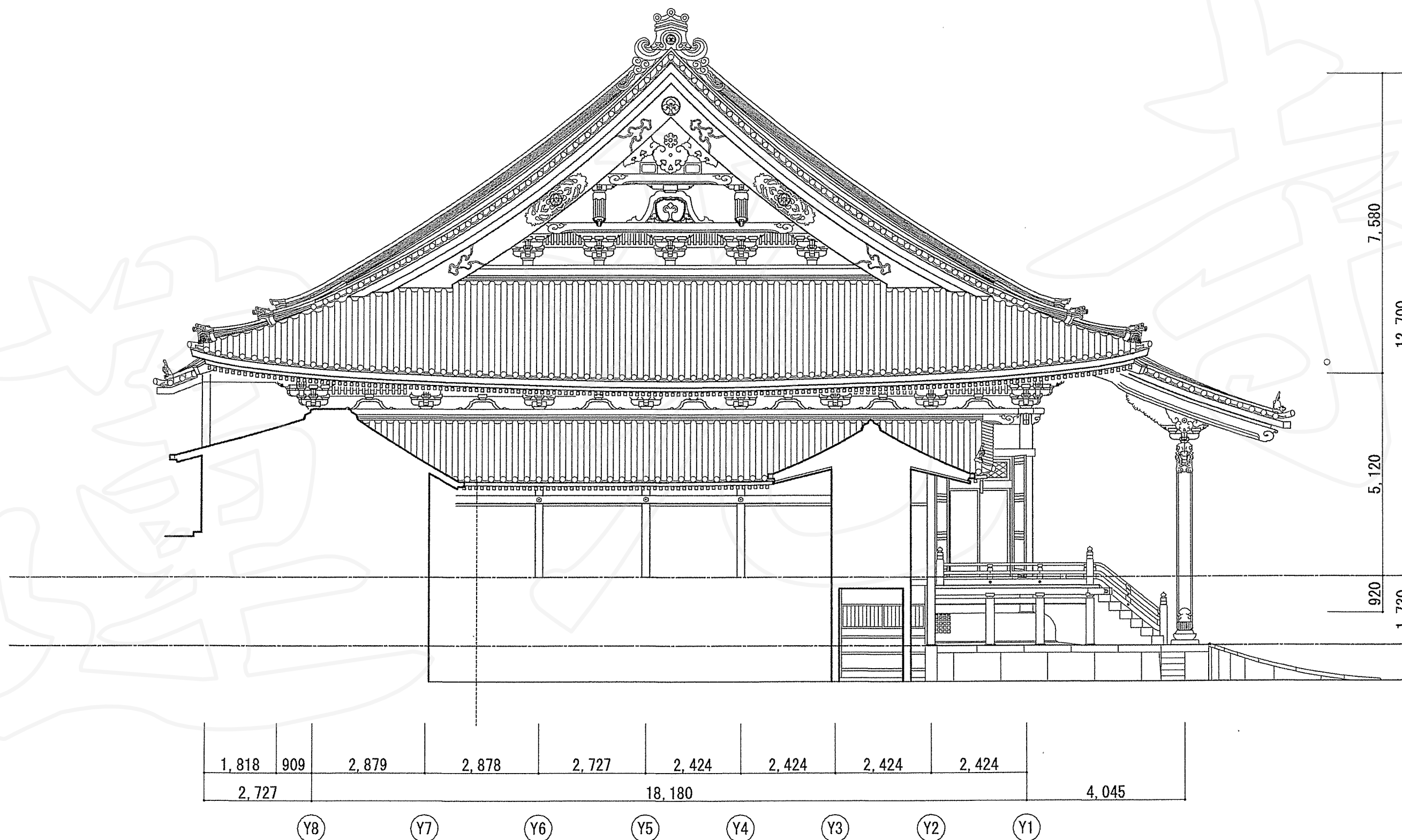
蓮光寺 本堂背面図 1 : 100

				株式会社 K R 建築研究所		横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271				蓮光寺本堂耐震補強工事		A-6	
				一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部範二				設計年月日 2016.06.		縮 尺 1/100 (A3版)		No.	
										本堂立面図-2			



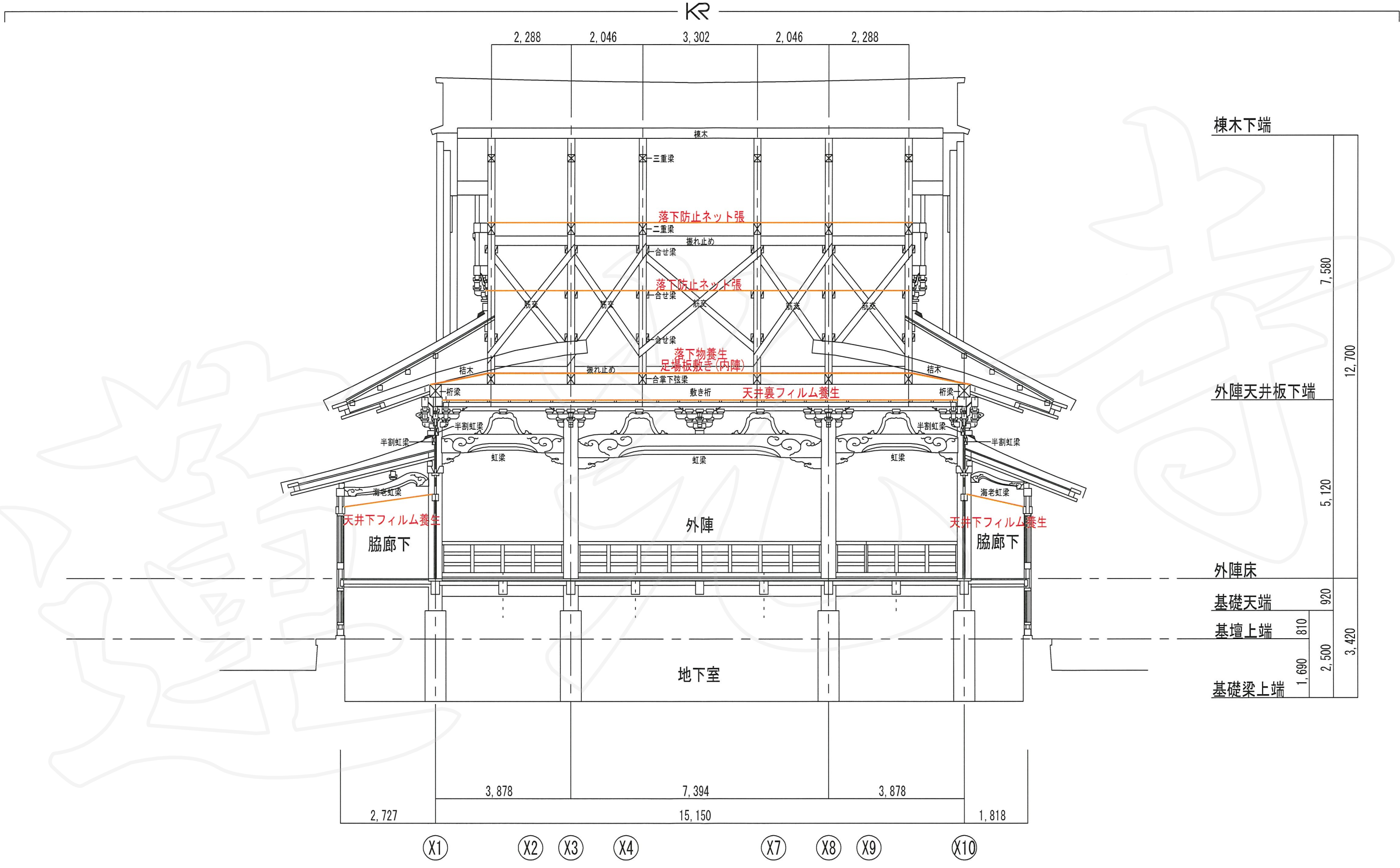
蓮光寺 本堂側面図-1 1 : 100

				株式会社 K R 建築研究所				横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16				蓮光寺本堂耐震補強工事				A-7	
				Tel 045 (412) 4901 Fax 045 (311) 9271				Tel 045 (412) 4901 Fax 045 (311) 9271				縮 尺 1/100 (A3版)					
				一級建築士事務所 第7363号 (神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部範二				設計年月日 2016.06				本堂立面図-3					



蓮光寺 本堂側面図-2 1:100

	株式会社 K R 建築研究所 横浜市中区三ツ沢上町 2-16 Tel 045 (412) 4901 Fax 045 (311) 9271 一級建築士事務所 第7363号 (神奈川県) 一級建築士 第37707号 股部範二	設計年月日 2014.11.	蓮光寺本堂屋根改修工事 本堂立面図-4 縮尺 1/100 (A3版)	A-8 No.
--	---	-------------------	--	------------



蓮光寺 本堂断面図-1 1 : 100

			株式会社 K R 建築研究所		横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045 (412) 4901 Fax 045 (311) 9271		蓮光寺本堂屋根改修工事		A-9	
			一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部範二		設計年月日 2016.06.		縮 尺 1/100 (A3版)		No.	
							本堂断面図-1			



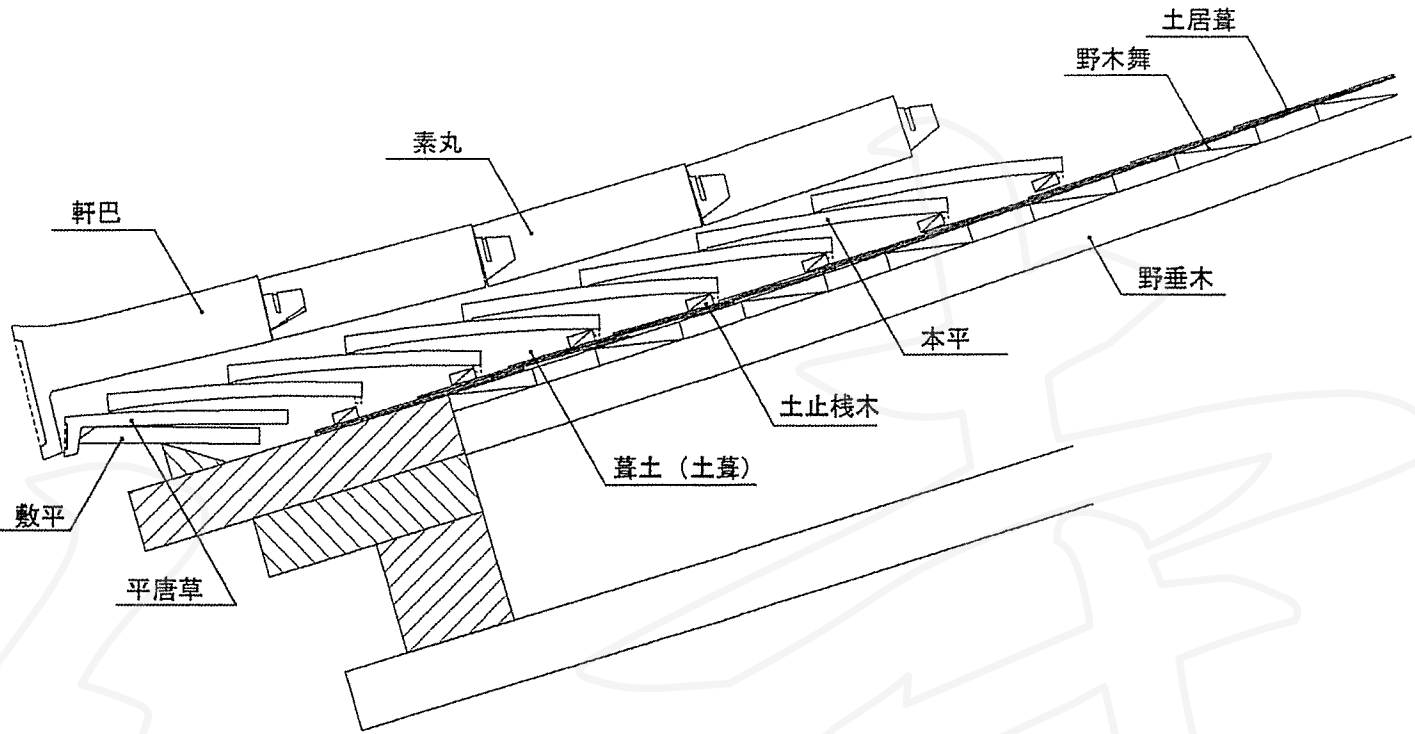
真宗大谷派 大田山 蓮光寺



既存瓦納まり（本瓦葺：土葺工法）

解体作業手順

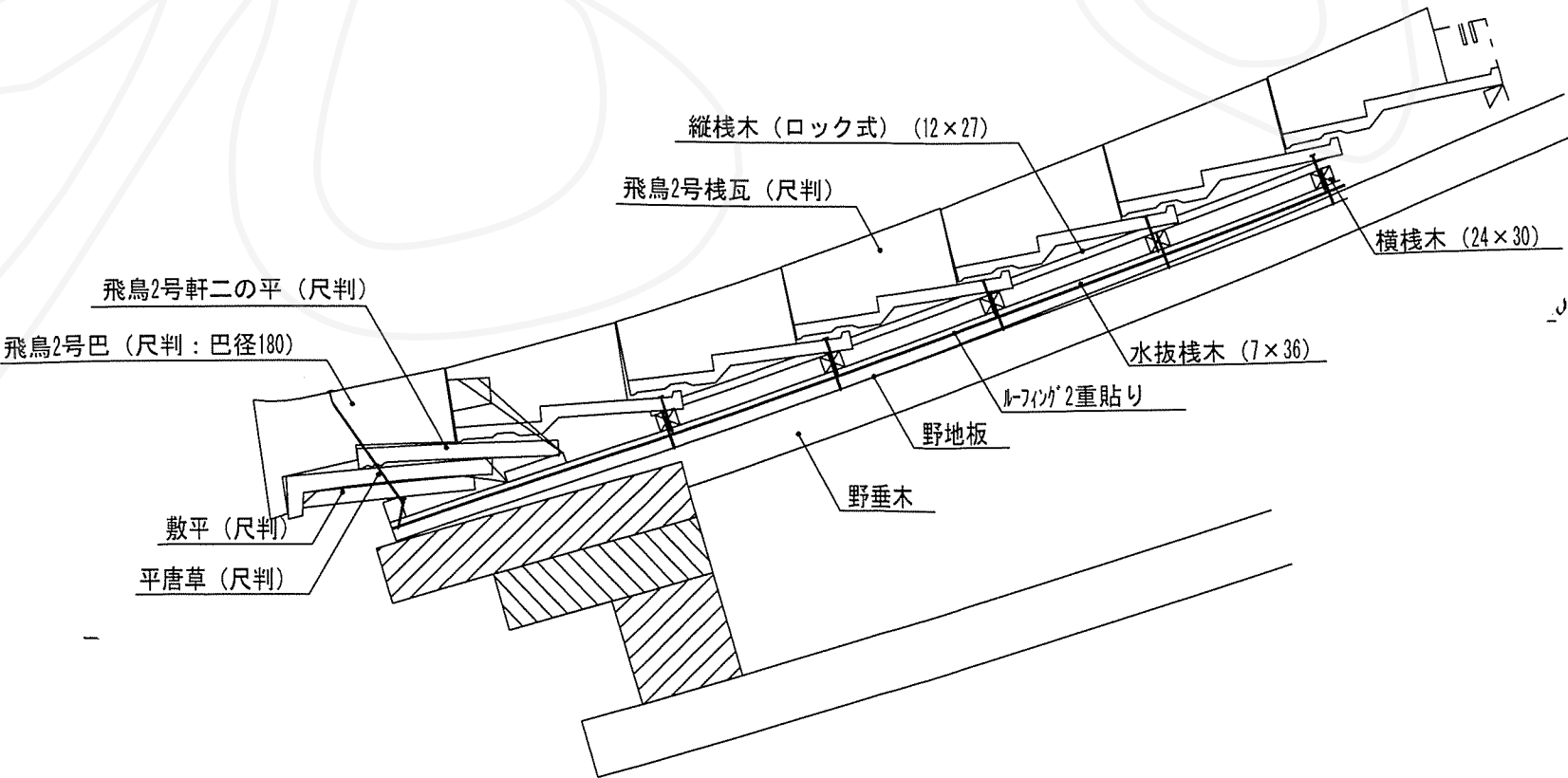
1. 既存瓦の解体前に、保存する瓦について十分に打合せをする。
2. 既存瓦の納まりは、予め記録する。
3. 特に鬼瓦は丁寧に解体し、木札等と作製して番手（既存設置位置）をつけ、監督員と打合せの上、指示された場所に保管する。
4. 瓦の解体中に、特別な刻印や文献等が発見された場合は、速やかに監督員に報告、指示を受ける。
5. 小屋裏への解体材落下防止のため、落下防止ネット及び落下物養生を設置する。A-9図、A-10図参照。
6. 瓦及び葺き土解体の後、土居葺材及び野地木舞材を撤去する。
7. 既存木造部材を点検し、補修の必要がある場合は監督員と協議の上、対処する。



飛鳥2号改良本瓦葺（空葺き工法）

施行手順

1. 新規野地板を設置する。
2. 野地板の上にアスファルトルーフィング、改良アスファルトルーフィング（2重貼）を貼る。
3. ルーフィングの上に水抜き棧木を取付けて、瓦割りを行なう。
4. 引掛け棧木（横棧木）、縦棧木（ロック式）の順に設置する。
5. 瓦工事はまず軒瓦より取付ける。唐草瓦はステンレス釘で2カ所留めとし軒巴・破風巴はステンレス線で胴と玉口の2カ所留めとする。
6. 平部分（一体瓦）はステンレス釘で1枚毎に留め、横棧木に瓦の爪を掛け縦棧木にしっかりとロックして取付ける。
7. 棟は南蛮漆喰を使用して取付ける。
8. 熨斗瓦はステンレス線で野地板より出したステンレス筋に全数緊結する。
9. 鬼瓦はステンレス線を3～5条廻りで緊結する。



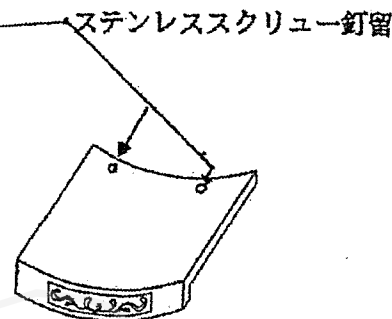
			株式会社 K R 建築研究所 神奈川県神奈川区三ツ沢上町 2-15 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271				蓮光寺本堂屋根改修工事		A-11	
			一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 版部範二		設計年月日 2014.11.		本堂屋根工事詳細図		No.	

標準仕様（耐震工法）

奈良産・改良本瓦葺（飛鳥2号尺判）

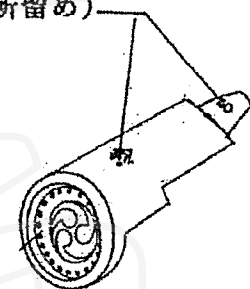
◎平唐草

ステンレススクリュー釘65mm
2ヶ所留め

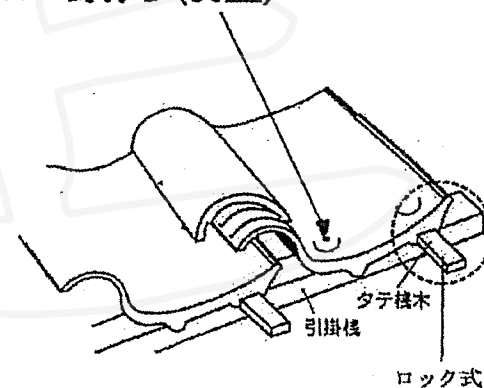


◎軒 巴

ステンレス線 1.2mm (2ヶ所留め)
南蛮漆喰使用

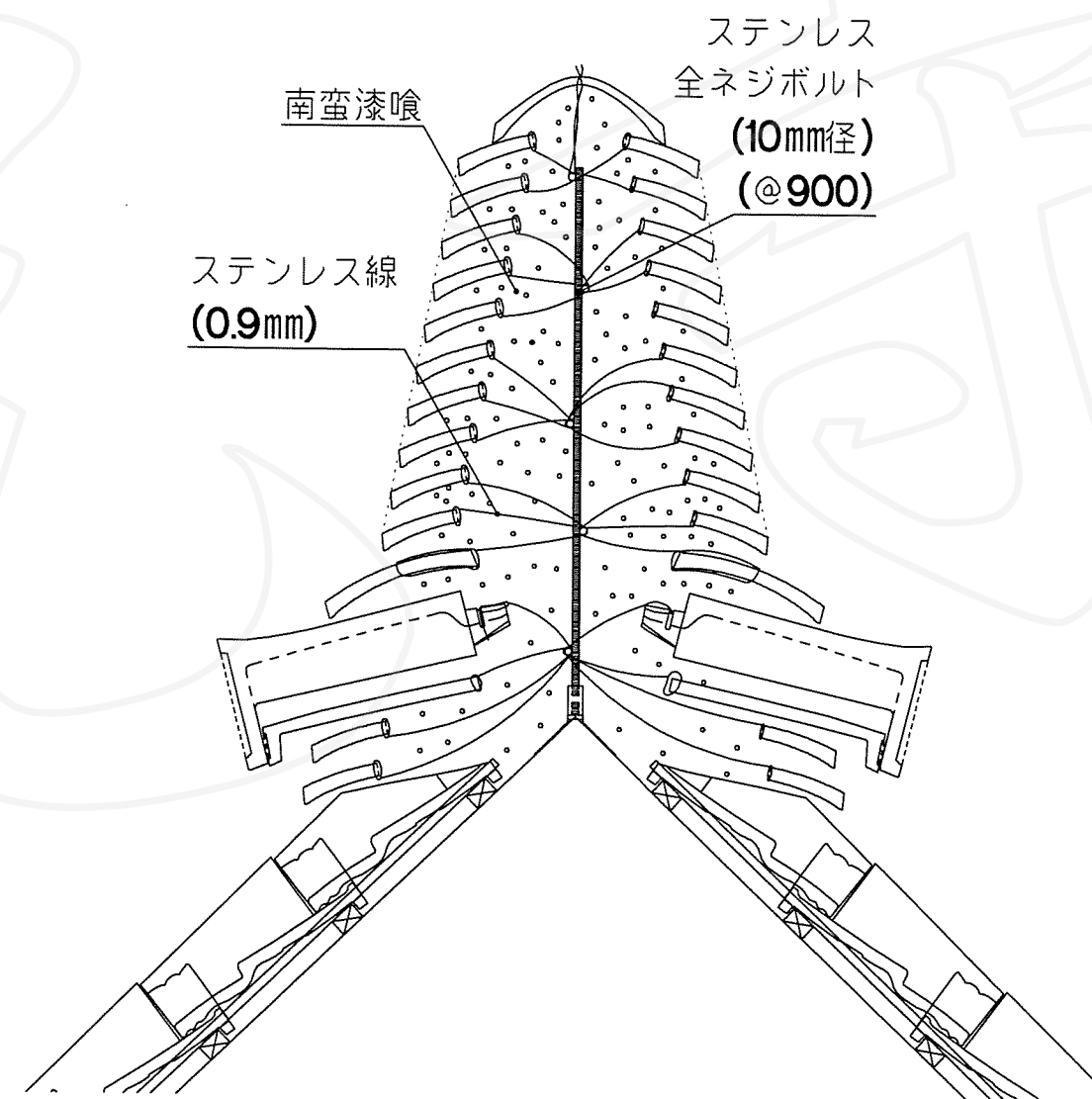


2号棧瓦は空葺 引掛け棧（横棧）と縦棧（ロック式）に引掛け1枚目
毎にステンレススクリュー釘打ち（50mm）



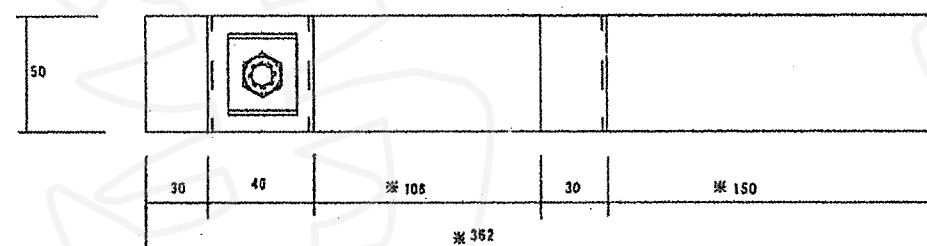
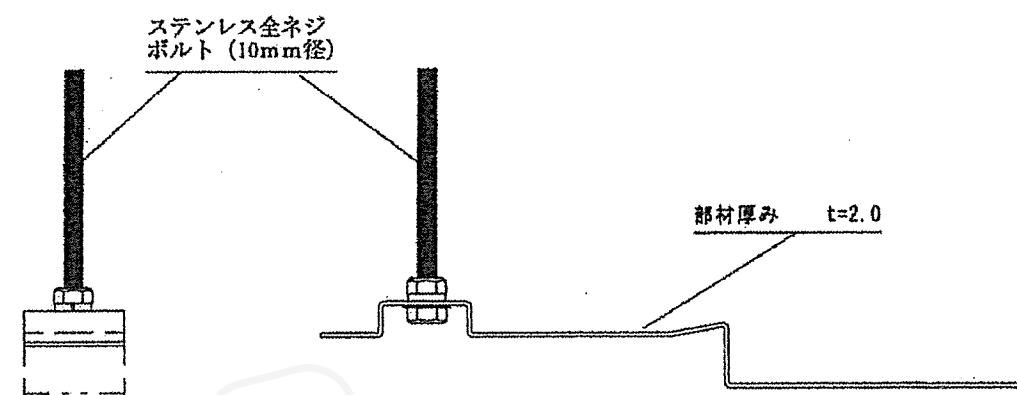
◎大棟

下記の図のように、熨斗瓦は、全数、ステンレス線（0.9mm）で、緊結。
冠瓦（伏間瓦）は、棟柄よりステンレス線（1.2mm）で、全数緊結。



ステンレス全ネジボルトの留め方等は、既存の状況により変化します。

◎降り棟



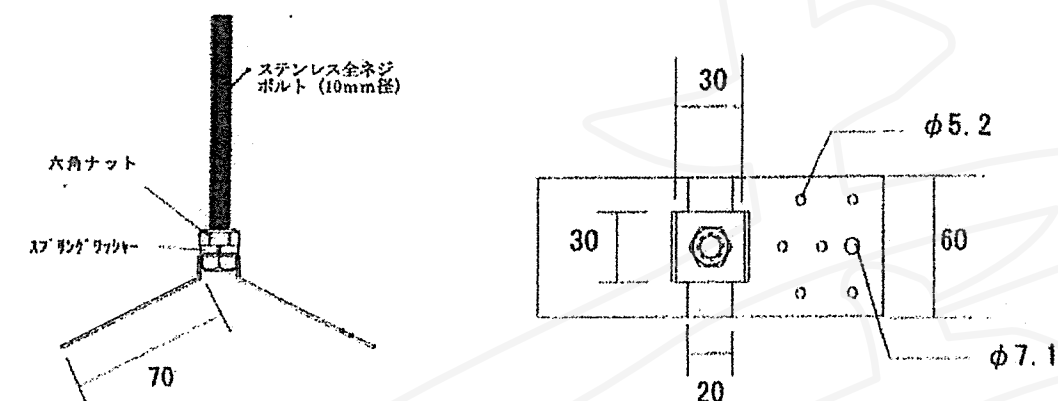
※印のサイズは変更可能

降り棟の補強金物は、上記の金物（ステンレス製）をベースにし、全ネジボルト（10mm径）の縦筋を入れる。

縦筋のピッチは、1,500mm以内（飛鳥2号棧瓦で6枚）。

縦筋に、大棟同様にステンレスの全ネジボルト（10mm径）を横筋として通わせ、大棟同様にステンレス線（0.9mm）にて、熨斗瓦を緊結する。

◎隅棟



隅棟の補強金物は、上記の金物（ステンレス製）をベースにして、全ネジボルト（10mm径）の縦筋を入れる（縦筋のピッチは、1,000mm以内）

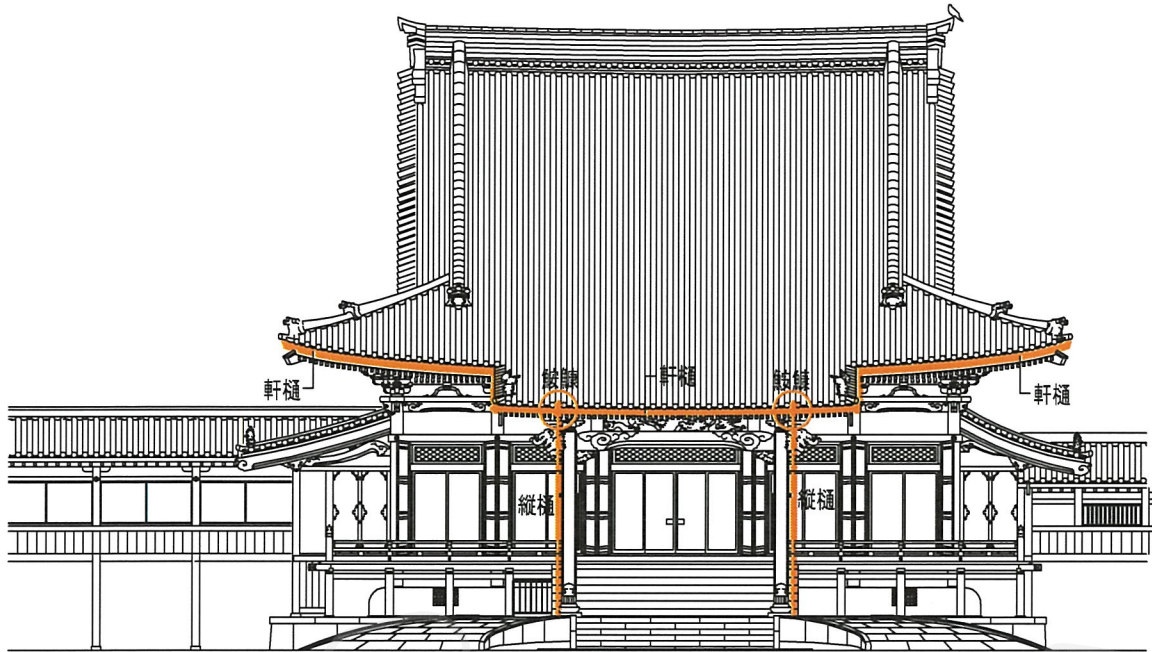
隅棟の補強金物のベース部分には、2種類の大きさの穴が空いているが、野地との状況により、止めるビス（釘）の太や、止める穴の位置を選定し、施工する。

通常ビス（釘）の止める本数は、2本以上とする。

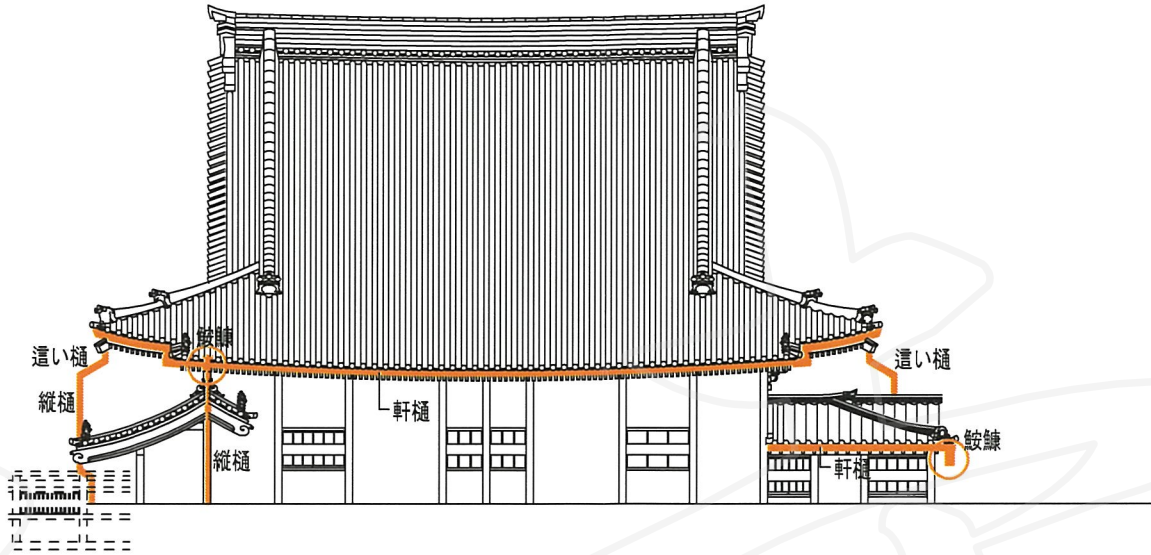
但し、2本止めでも、ベースの固定が不安な場合（改修工事等で多い）は、本数を増やして安定させる。

熨斗瓦の緊結は、大棟と同様に施工する。

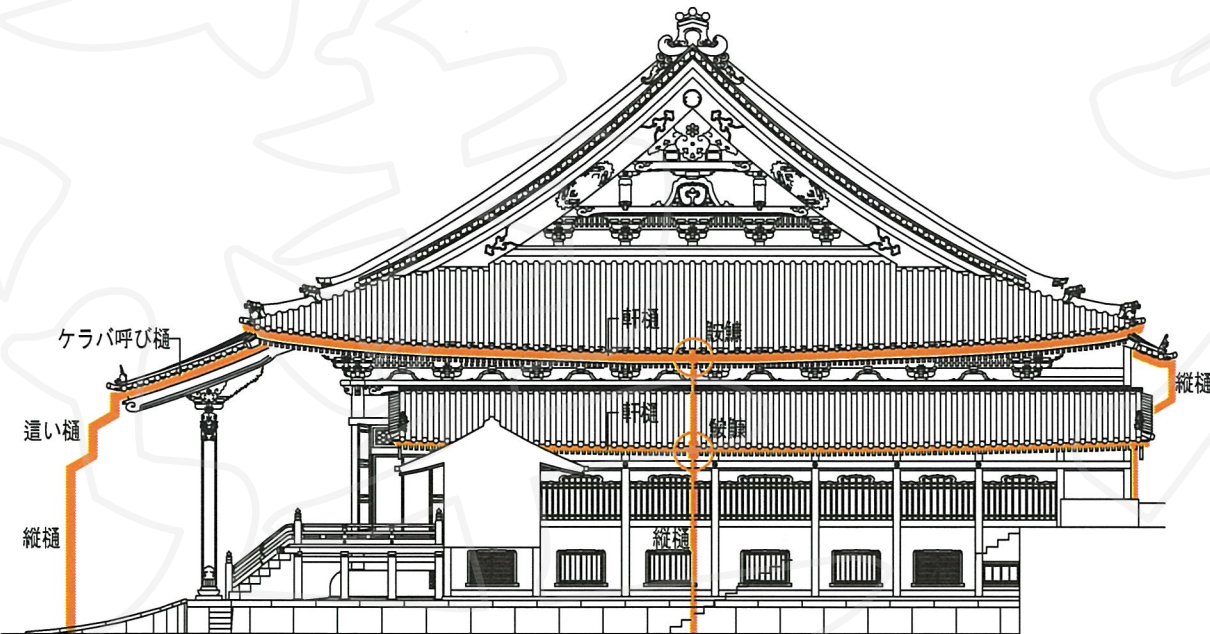
その他、細部意匠等は現場にて設計及び現場指示によって施工の事。



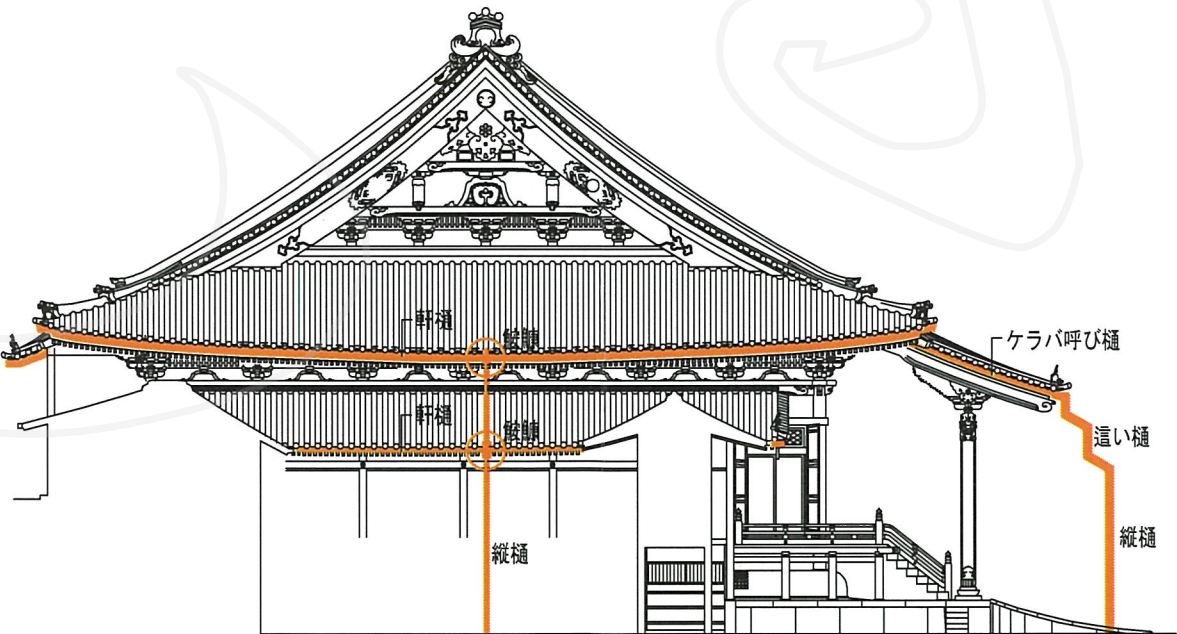
本堂正面図 1 : 200



本堂背面図 1 : 200



本堂側面図-1 1 : 200

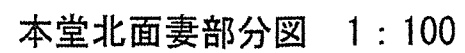
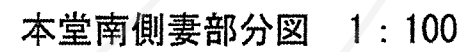


本堂側面図-2 1 : 200

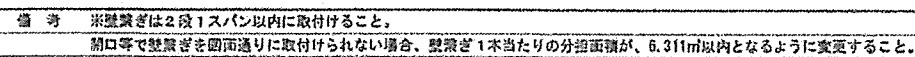
軒樋	大屋根一般タイプ	銅製角型樋	120×180	76.5m
	大屋根裏面タイプ	銅製角型樋	160×240	18.0m
	下屋根タイプ	銅製半月型	120φ	32.0m
	ケラバ呼び樋	銅製角型	120×180	12.2m
軒樋	底板ステンレス	t 0.3mm		138.7m
軒樋	珪藻土塗装	表面及び内側		138.7m

縦樋	這い樋 一般タイプ	銅製角型	140×140	20.7m
	大屋根裏面タイプ	銅製角型	180×180	4.7m
	下屋根タイプ	銅製角型	140×140、90φ	13.0m
	鯨鯨	銅製		8か所
縦樋	珪藻土塗装	銅製角型		6カ所

株式会社 KR 建築研究所 〒221-0801 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271 一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部 範二				蓮光寺本堂屋根改修工事 設計年月日 2016.06 本堂樋位置図 縮尺 1/200 (A3版)		A-14 No.
--	--	--	--	--	--	-------------

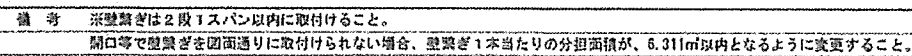


真宗大谷派 大田山 蓮光寺



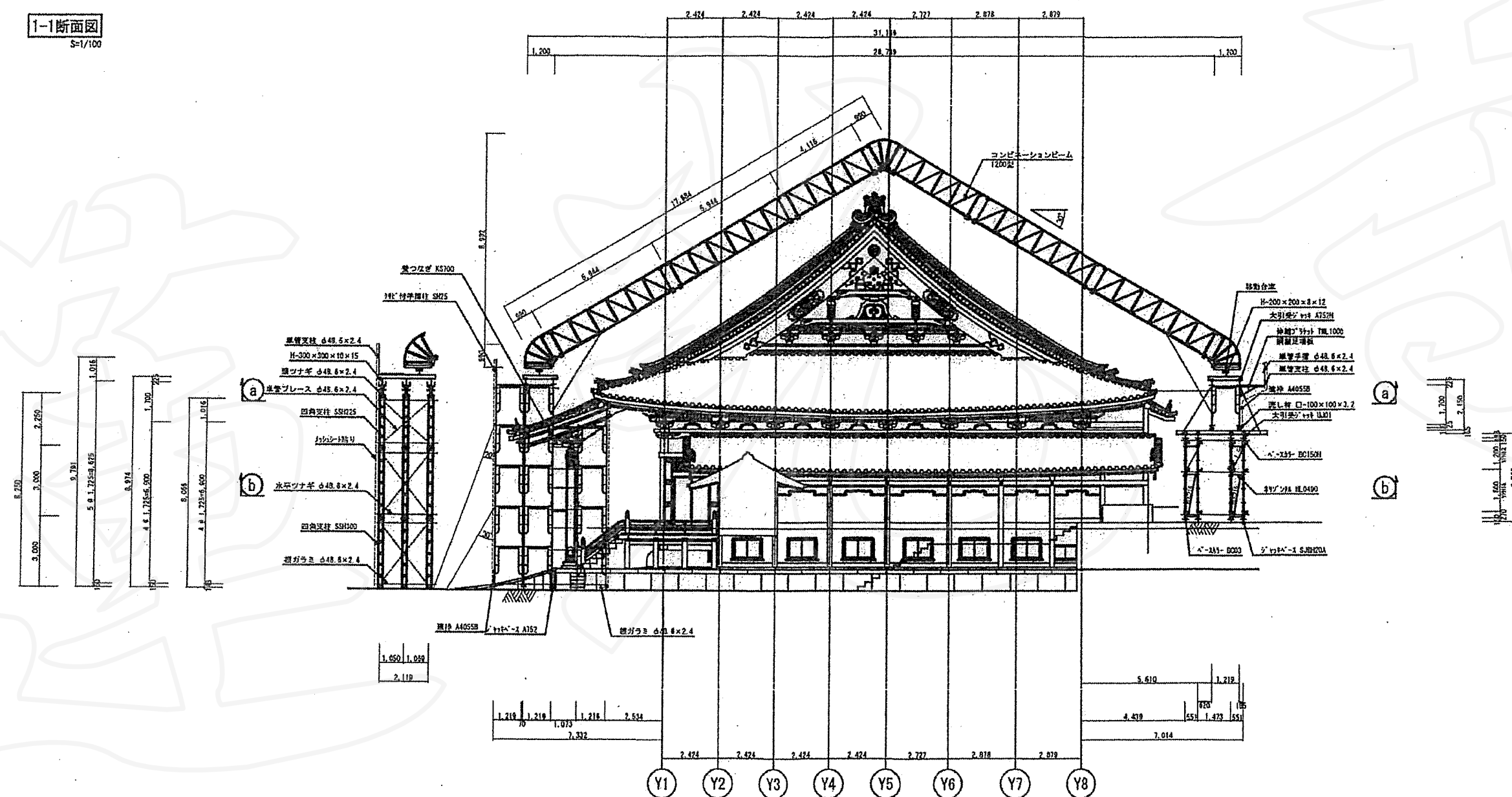
蓮光寺本堂屋根改修工事
本堂仮設工事詳細図 (1)

- 16



KR

1-1断面図
S=1/100



備考 ※壁置きは2段1スパン以内に取付け可。
開口等で壁置きを面通りに取付けられない場合、壁置き1本当たりの分担面積が、6.311㎡以内となるように変更すること。

株式会社 KR 建築研究所
〒245-0291 神奈川県横浜市都筑区三ツ沢上町 2-18
Tel 045(412)4901 Fax 045(331)9271
一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部龍二

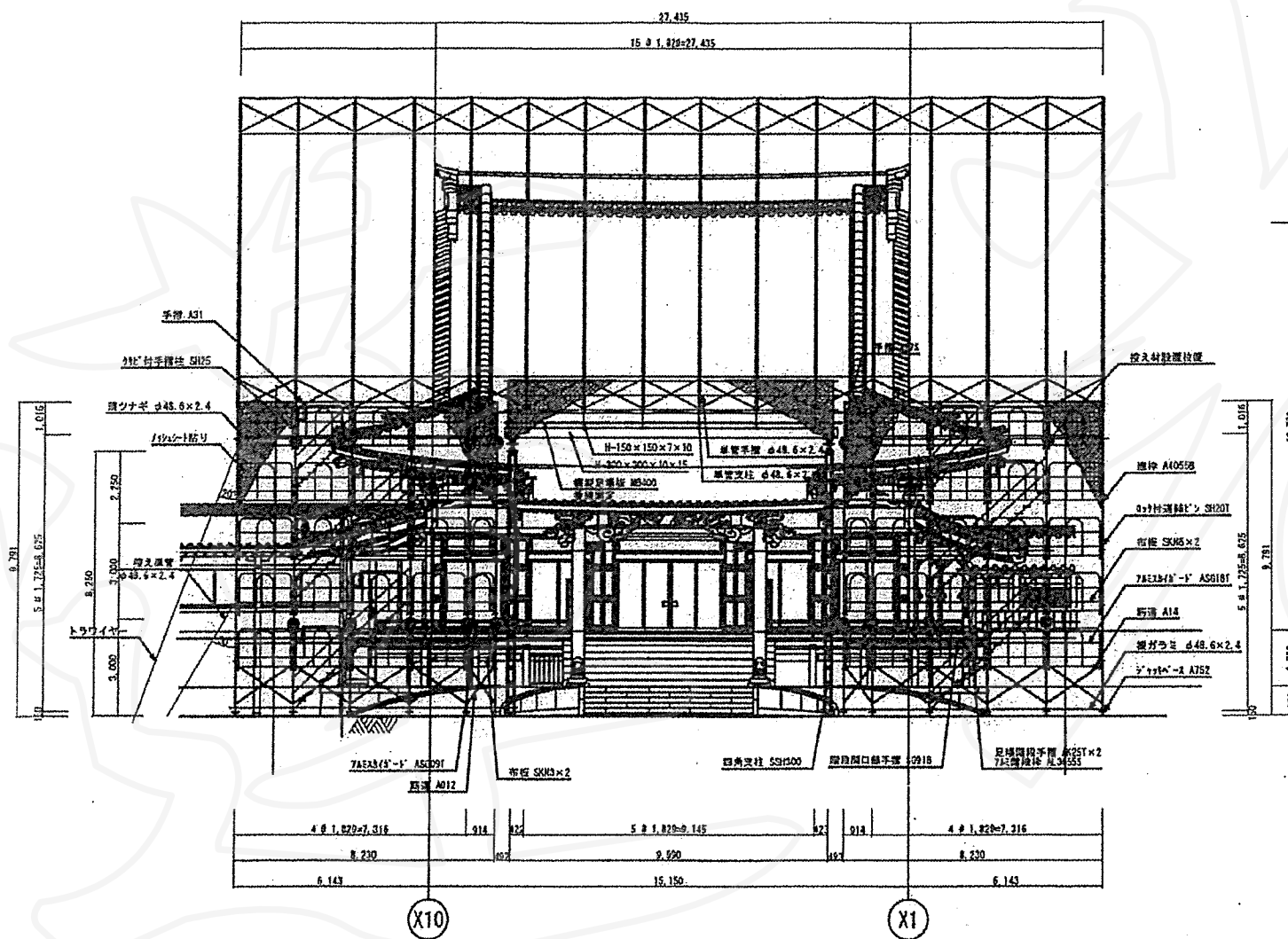
設計年月日
2014.11

蓮光寺本堂屋根改修工事
本堂仮設工事詳細図 (3)

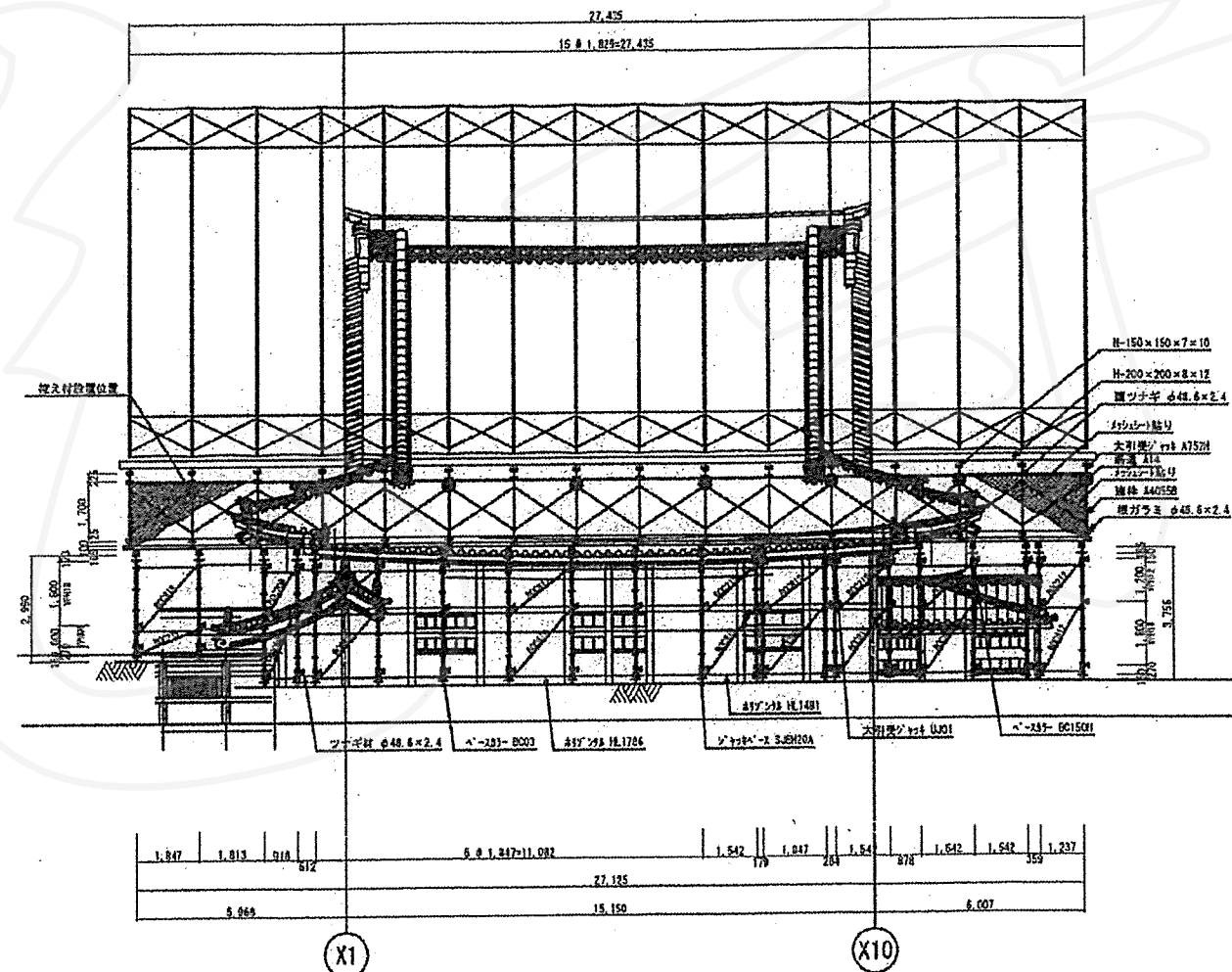
図 R 1/200 (A3版)

A-18
No.

東側面図
S=1/100



西側面図
S=1/100



備考 ※設置は2段1スパン以内に取り付けること。
開口等で設置を四面通りに取付けられない場合、設置1本当たりの分担面積が、6.31㎡以内となるように変更すること。

株式会社 **K R 建築研究所**
〒104-0041 東京都中央区三ツ又上町 2-16
Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271
一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 股部範二

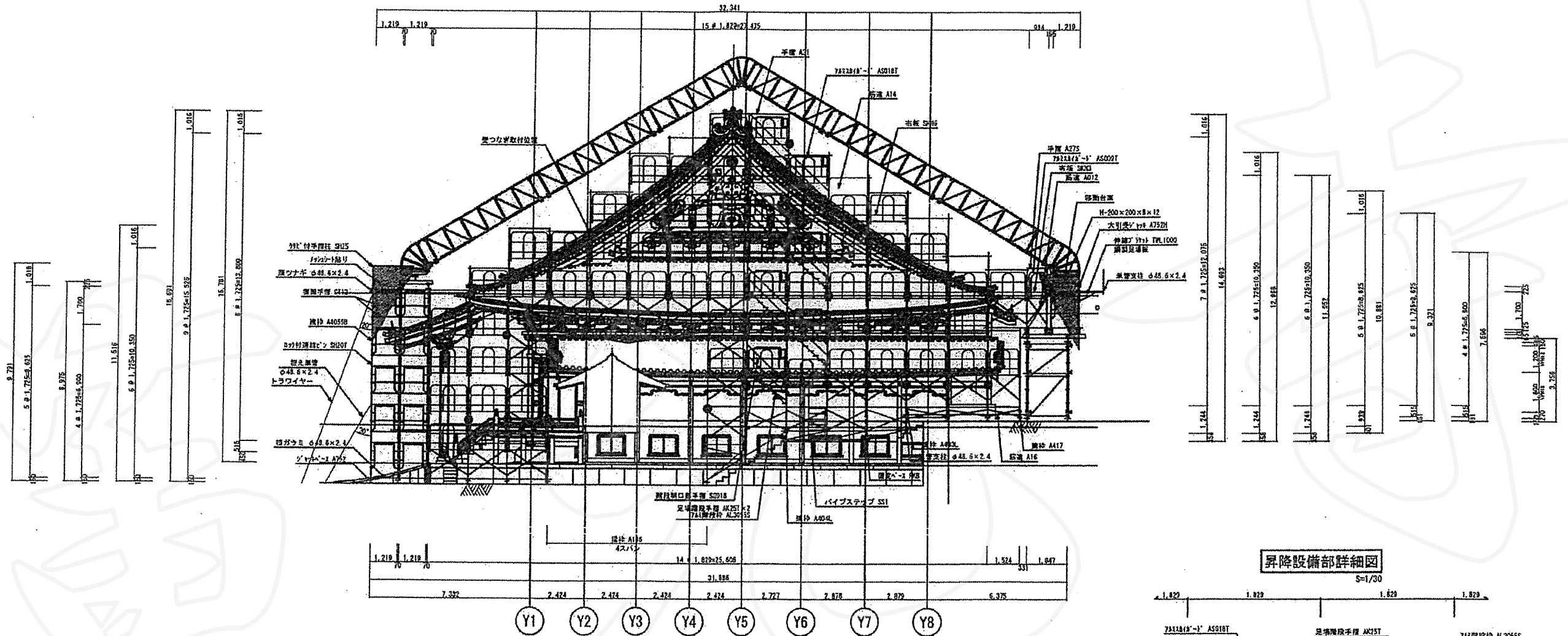
設計年月日
2014.11.

蓮光寺本堂屋根改修工事
本堂仮設工事詳細図(4)

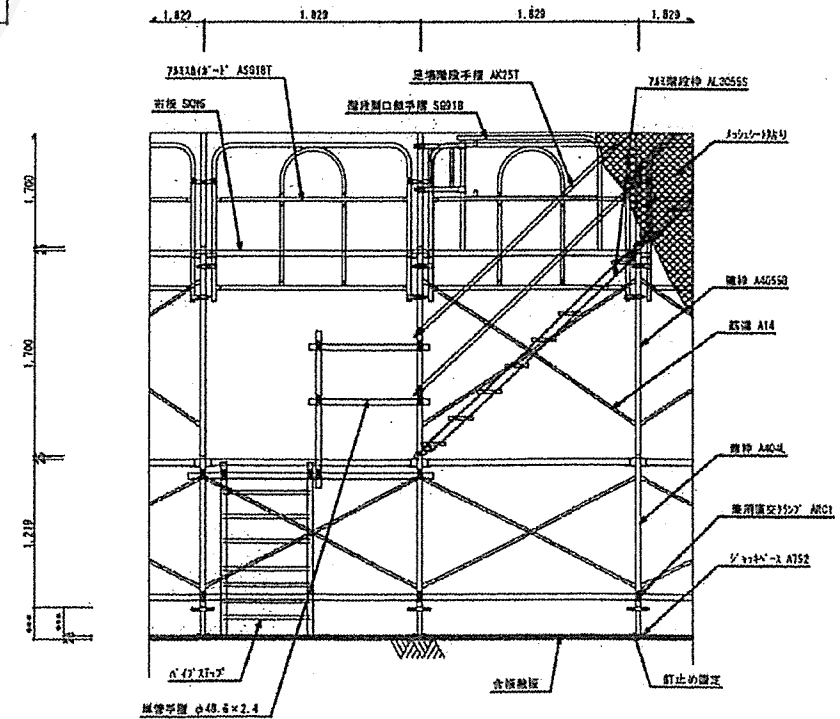
縮尺 1/200 (A3用)

A-19

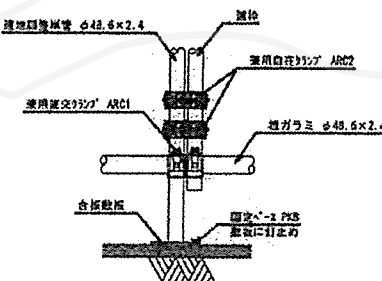
北側面図
S=1/100



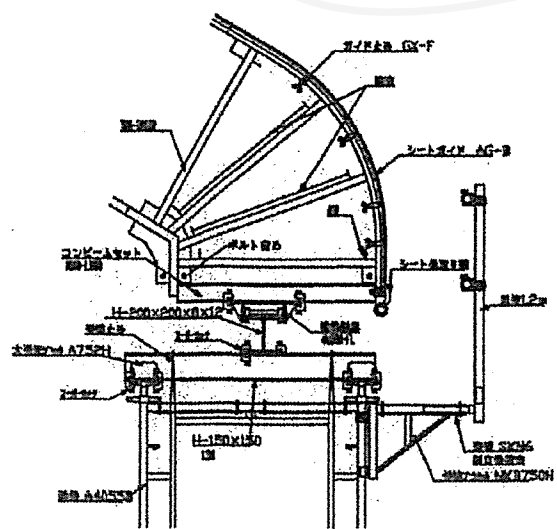
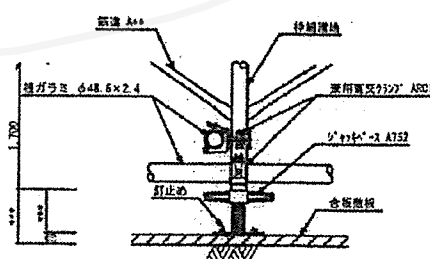
昇降設備部詳細図
S=1/30



脚部(抱き)詳細図
S=1/10



柱組脚部詳細図
S=1/10

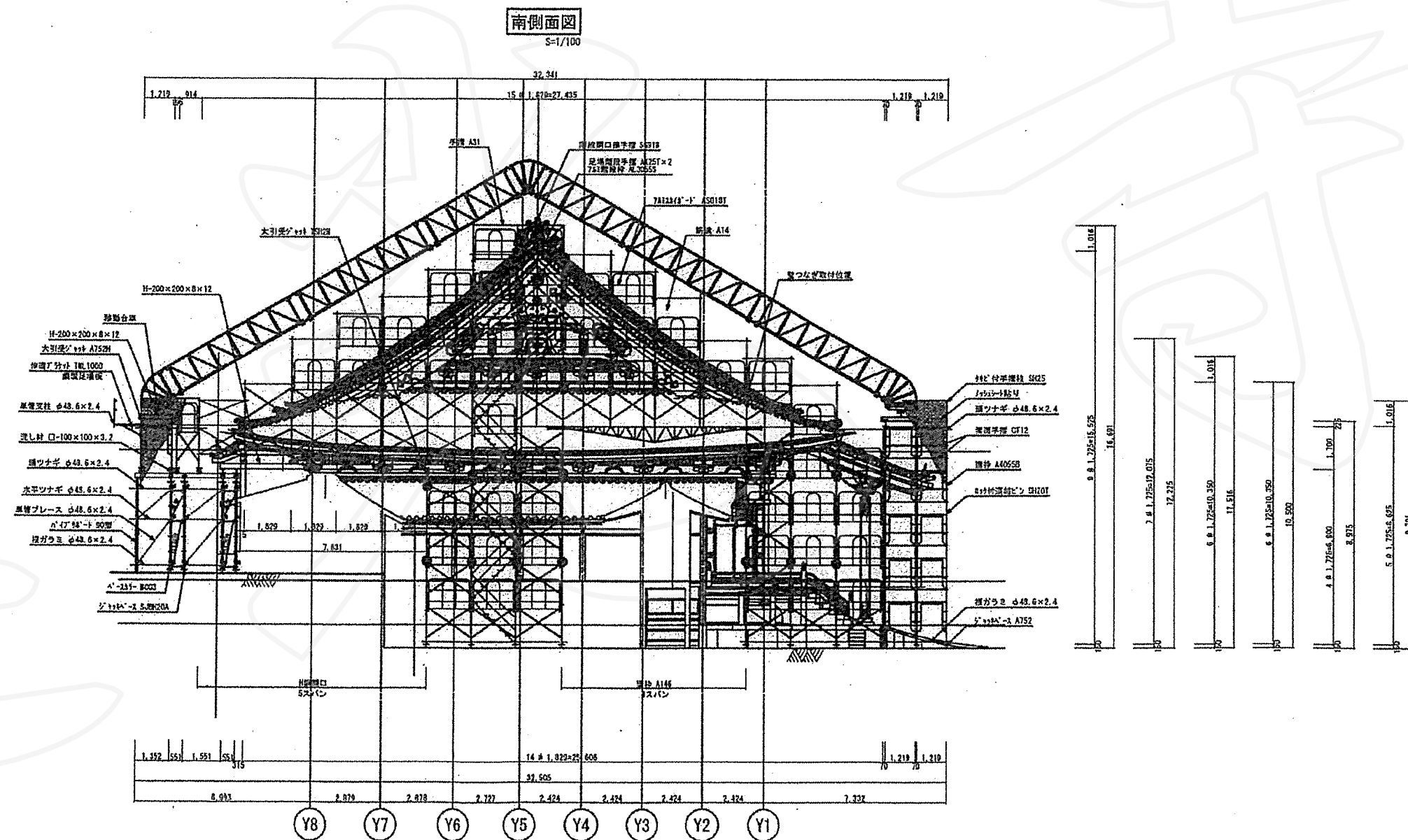


備考 ※盤置きは2段1スパン以内に取付け可。
開口等で盤置きを面通りに取付けられない場合、盤置き1本当たりの分担面積が、6.311㎡以内となるように変更すること。

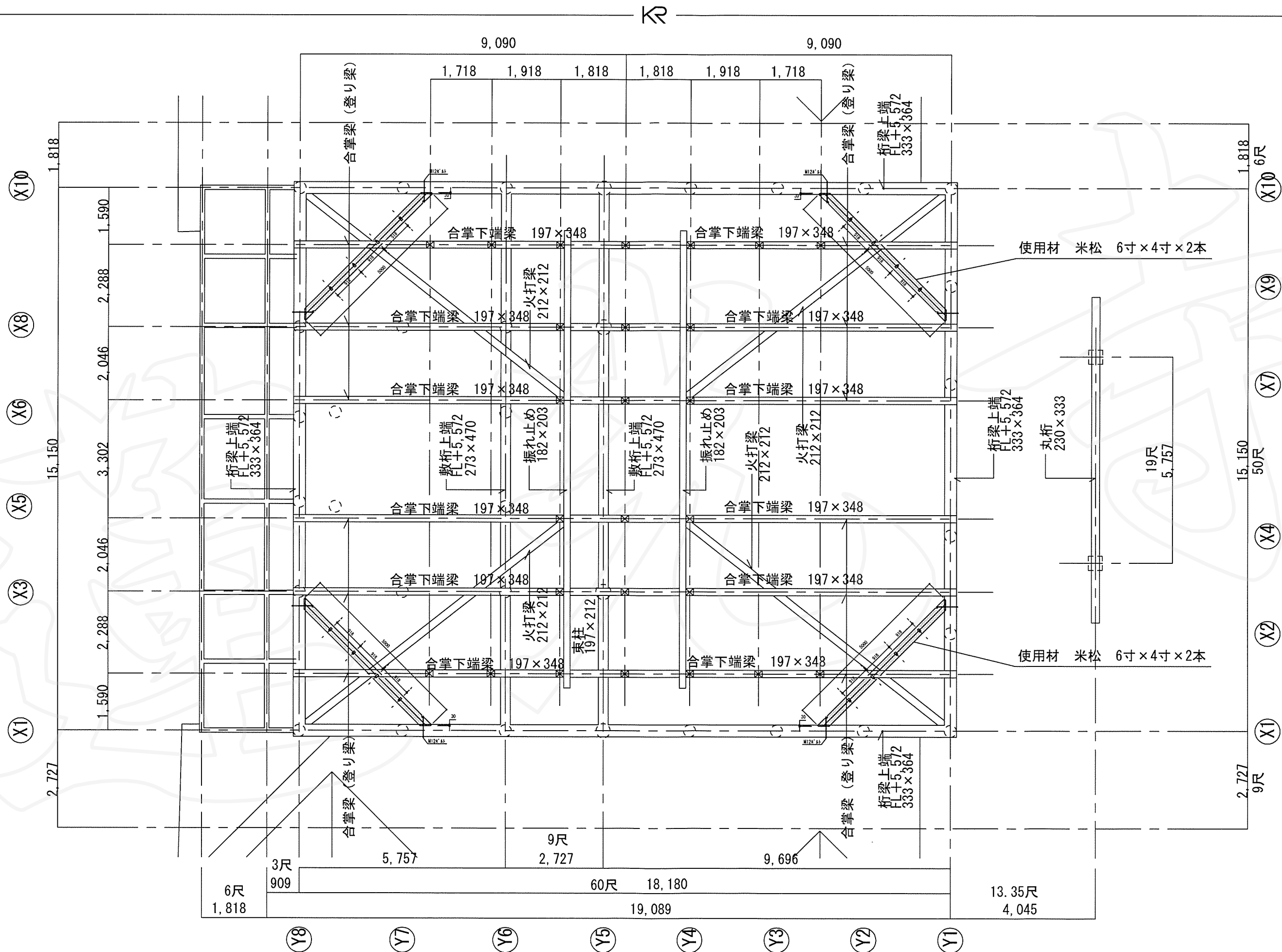
株式会社 K R 建築研究所
〒104-0041 東京都中央区新富町2-16
Tel. 046(412)4001 Fax 046(311)9271
一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 股岡純二

蓮光寺本堂屋根改修工事
本堂仮設工事詳細図 (5)

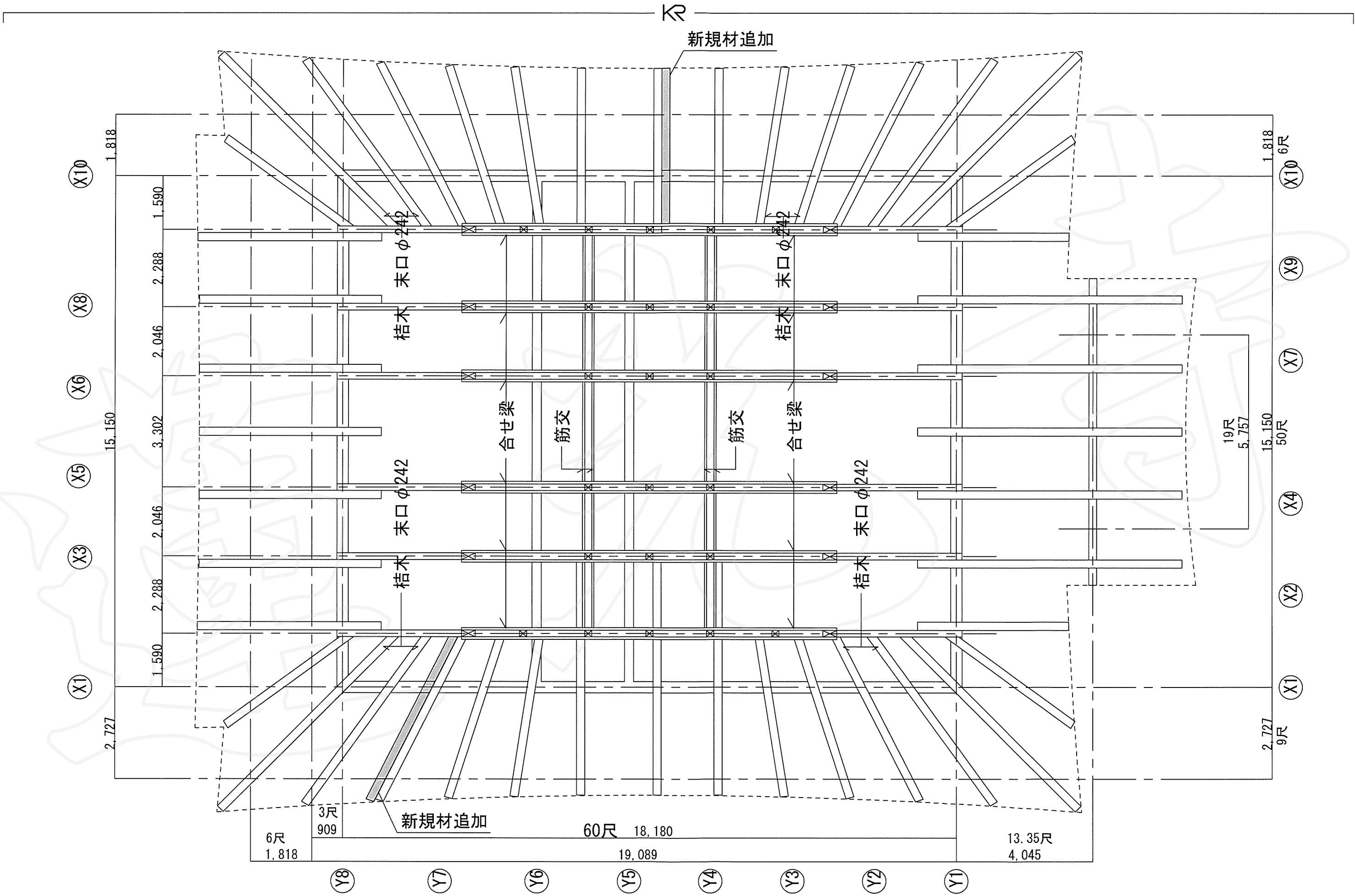
A-20
No.



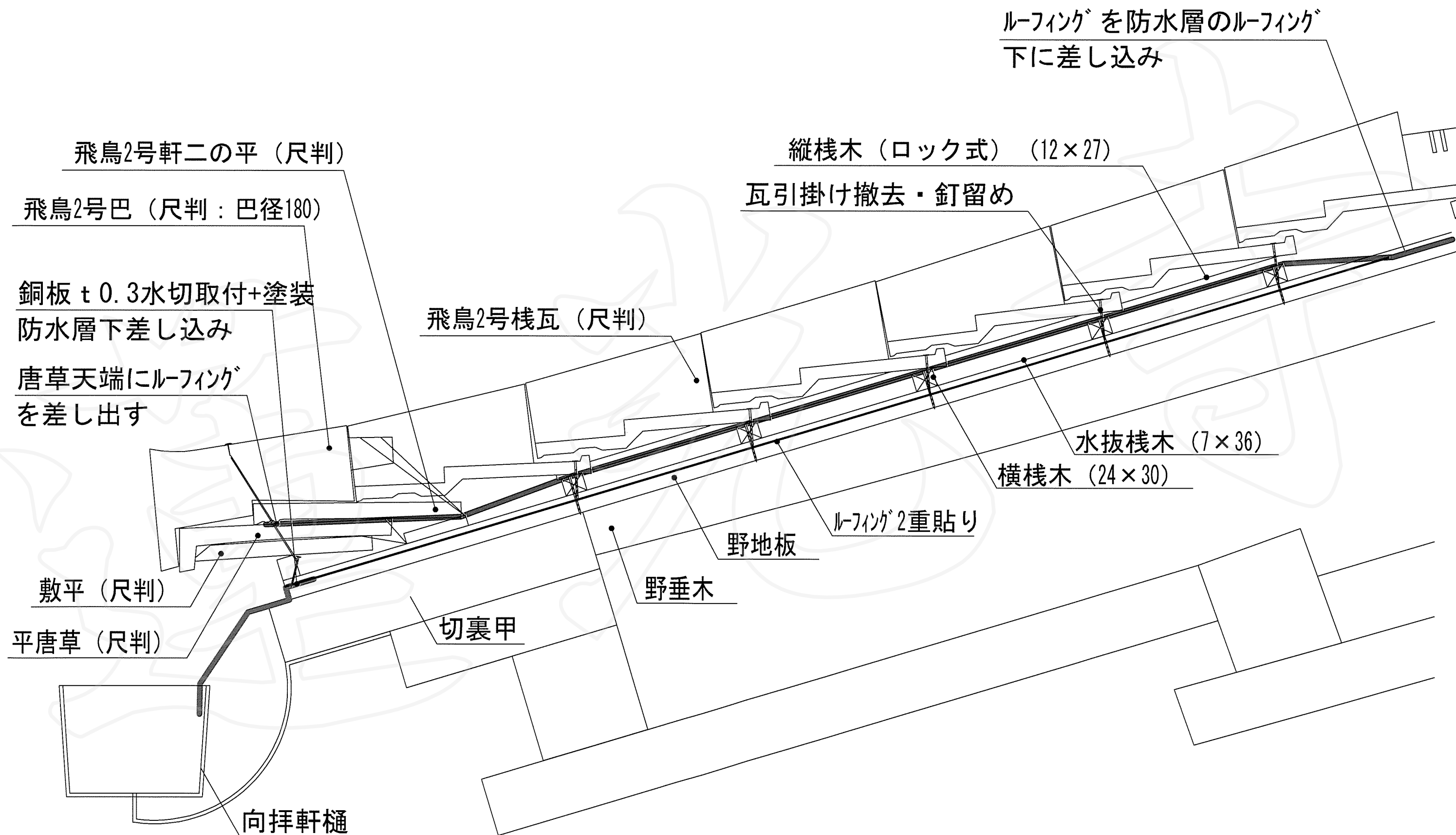
備考 ※型置きは2段1スパン以内に取り付けること。 開口等で型置きを面通りに取付けられない場合、型置き1本当たりの分担面積が、6.311㎡以内となるように変更すること。	株式会社 K R 建築研究所 横浜市中区三ツ沢上町 2-19 Tel 045(412)4001 Fax 045(311)3271 一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部 龍二	蓮光寺本堂屋根改修工事 本堂仮設工事詳細図 (6) 45 R 1/200 (A2版)	A-21 No.
---	--	---	---------------------



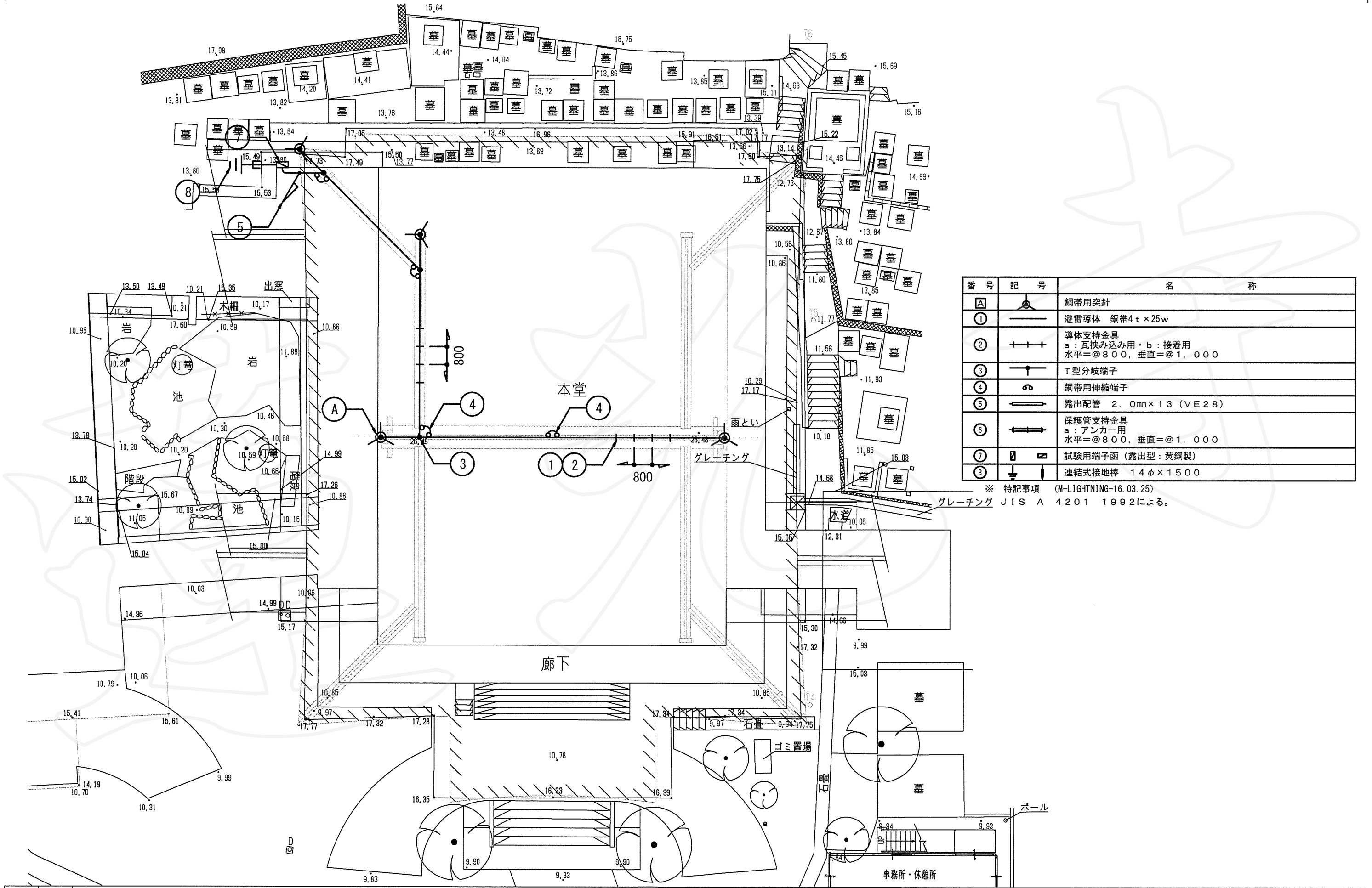
	株式会社 K R 建築研究所 横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271 一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部 範二	蓮光寺本堂耐震補強工事 本堂小屋裏補強 設計年月日 2016.06 縮尺 1/100 (A3版)	A-22 No.
--	---	--	-------------



株式会社 K R 建築研究所 〒045-4121 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271 一級建築士事務所 第7363号(神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部範二				蓮光寺本堂耐震補強工事 本堂桔木補強 設計年月日 2016.06 縮尺 1/100 (A3版)		A-23 No.
--	--	--	--	--	--	-------------



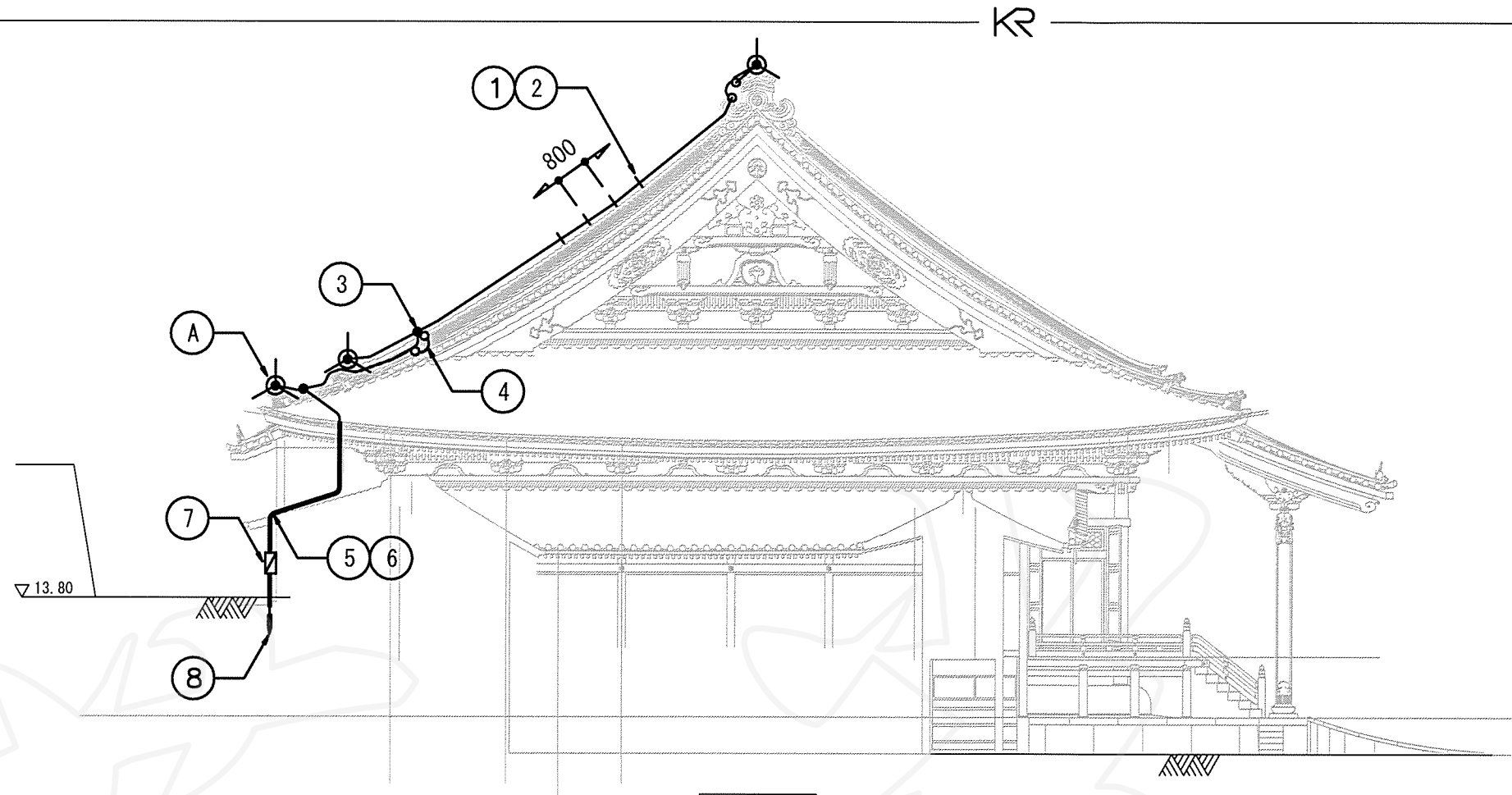
	株式会社 KR 建築研究所 横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045 (412) 4901 Fax 045 (311) 9271 一級建築士事務所 第7363号 (神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部範二	蓮光寺本堂屋根改修工事 本堂向拝軒先詳細図 設計年月日 2016.06.	A-24 No.
--	--	--	-------------



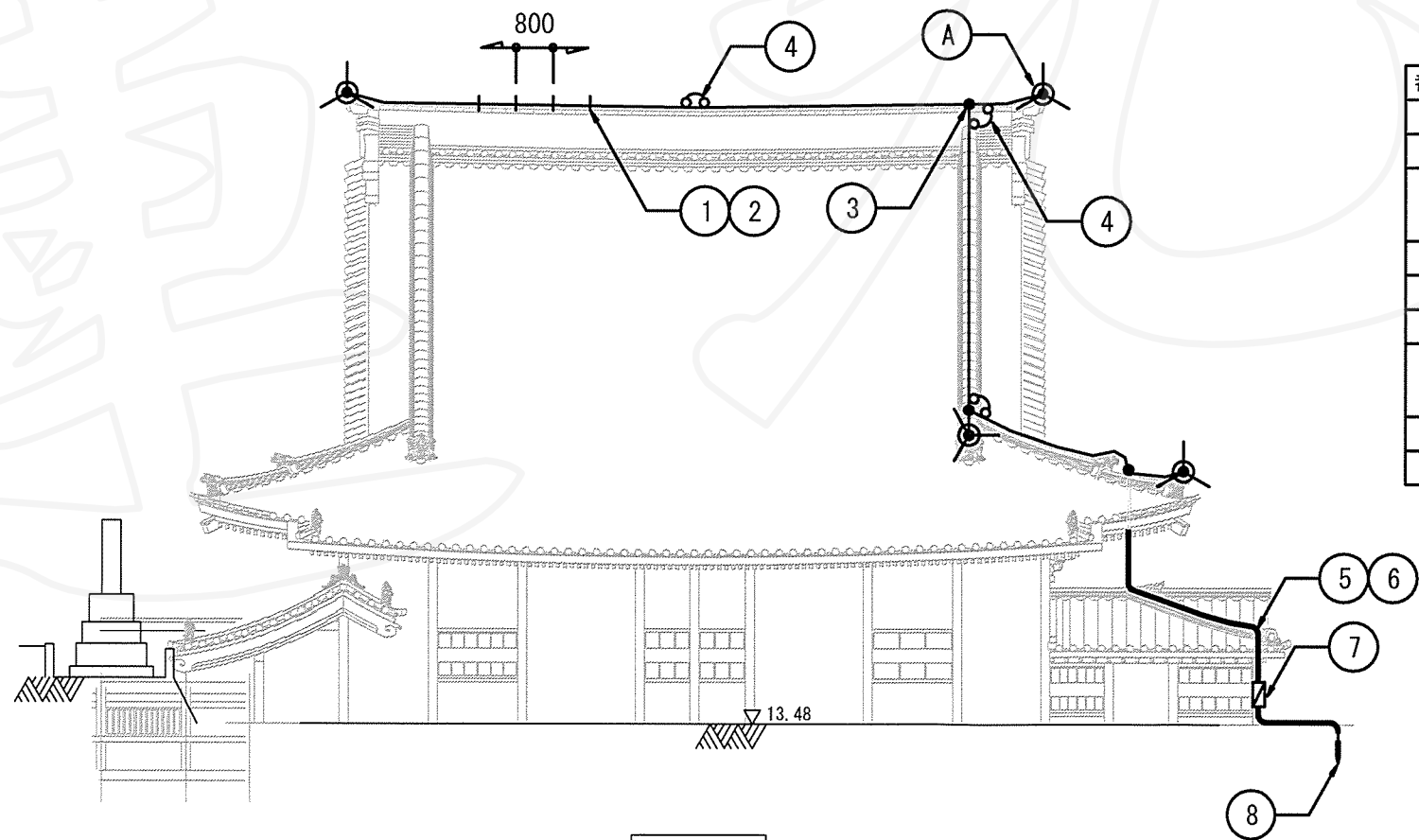
番号	記号	名称
A		銅帯用突針
①		避雷導体 銅帯4t×25w
②		導体支持金具 a: 瓦挟み込み用・b: 接着用 水平=φ800, 垂直=φ1,000
③		T型分岐端子
④		銅帯用伸縮端子
⑤		露出配管 2.0mm×13 (VE28)
⑥		保護管支持金具 a: アンカー用 水平=φ800, 垂直=φ1,000
⑦		試験用端子箱 (露出型: 黄銅製)
⑧		連結式接地棒 14φ×1500

※ 特記事項 (M-LIGHTNING-16.03.25)
JIS A 4201 1992による。

株式会社 KR 建築研究所		横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045(412)4901 Fax 045(311)9271	蓮光寺本堂屋根改修工事		A-25 No.
一級建築士事務所 第7363号(神奈川県)		一級建築士 第37707号 服部範二	設計年月日 2016.06.	本堂避雷針設備 (1)	



南側面図



西側面図

番 号	記 号	名 称
A		銅帯用突針
①		避雷導体 銅帯4 t × 25 w
②		導体支持金具 a : 瓦挟み込み用・b : 接着用 水平= @ 8 0 0 , 垂直= @ 1 , 0 0 0
③		T型分岐端子
④		銅帯用伸縮端子
⑤		露出配管 2 . 0 mm × 1 3 (V E 2 8)
⑥		保護管支持金具 a : アンカー用 水平= @ 8 0 0 , 垂直= @ 1 , 0 0 0
⑦		試験用端子函 (露出型 : 黄銅製)
⑧		連結式接地棒 1 4 φ × 1 5 0 0

※ 特記事項 (M-LIGHTNING-16.03.25)
J I S A 4 2 0 1 1 9 9 2による。

株式会社 K R 建築研究所 横浜市神奈川区三ツ沢上町 2-16 Tel 045 (412) 4901 Fax 045 (311) 9271			蓮光寺本堂屋根改修工事		A - 2 6 No.
一級建築士事務所 第7363号 (神奈川県) 一級建築士 第37707号 服部 範二			設計年月日 2 0 1 6 . 0 6 .	本堂避雷針設備 (2) 縮 尺 1 / 1 5 0 (A3版)	